

明日の日本を支える子どもたちのために

教員の民間企業研修レポート 2021



教員の民間企業研修レポート 2021

はじめに

経済広報センターは、「社会と企業とのコミュニケーション」をキーワードに、1978年に設立され、以来43年にわたり、ビジネス界の考え方や企業活動の実態などについて、国内外に広く情報発信するとともに、社会の声を企業にフィードバックする活動に努めてまいりました。

中でも、将来の日本を担う子どもたちの育成を図るため、「教育界とビジネス界とのコミュニケーションの促進」に力を入れており、その取り組みの一環として、この「教員の民間企業研修」を実施しております。

この研修では、学校の教員に様々な民間企業で研修を受けていただき、事業活動に対する考え方や実務内容、人材育成やSDGsへの取り組み、果たすべき企業の社会的責任などについて理解を深めていただきます。さらに、企業での体験を、授業などを通して子どもたちに伝えていただくとともに、今後の学校運営などにも活かしていただいております。

本研修は、1983年に参加教員5人、受け入れ企業1社でスタートし、回を重ねるごとに、参加教員数、受け入れ企業ともに増加してまいりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度は中止となりましたが、2021年度は初のオンラインによる研修となりました。984人の教員が、41の企業・団体の研修に参加し、実践的な研修プログラムを通じて、相互理解を深めました。なお、累計では、22,977人の教員が275社で研修を体験されたことになります。

また、2021年も研修での体験について、参加教員の皆さまから授業や学校運営など、学校教育の場での活用事例をお寄せいただき、関係者間で共有しています。

少子高齢化社会を迎えているわが国が、社会の活力を今後とも維持・発展させていくためには、その礎となる教育システムの充実が欠かせません。明日の日本を支える人材を育成するためにも、企業の取り組みや経済活動の実際の姿を教育界に伝える重要性がますます高まっているといえます。

経済広報センターは、これからも教育界とビジネス界の懸け橋として、教育界とのコミュニケーションを促進してまいります。今回の研修にご協力いただきました企業関係者や学校関係者、そして参加された教員の皆さまに感謝いたしますとともに、当センターの活動に引き続きさらなるご協力、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

2022年1月
一般財団法人 経済広報センター
専務理事・事務局長
渡辺 良

企業から教員へメッセージ

SDGsはこれからの将来を担う子どもたちの育成に不可欠であり、ビジネス思考は教育現場の課題解決に有効となります。今後の時代に相応しい学校教育の実現に向けて取り組まれることを期待しています。

事前課題や研修後のアンケートから、皆さまが子どもたちを思う気持ちが強く伝わってきました。子どもたちにとっては学校の学習だけでなく、先生との思い出や交わした言葉も人生に大きく影響すると思います。今後の一層のご活躍を応援しております。

これからの社会では、デジタル技術を活用した「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル」の実現が求められます。先進的なITサービスや企業の働き方改革などが、教育現場や学校運営の参考になることを期待しています。

オンライン開催となり、双方向のコミュニケーションが難しい場面もありましたが、研修を通じて得たことを学校運営や次世代を担う子どもたちに還元したいという強い思いを感じ、大変感銘を受けました。益々のご活躍とご健康を心からお祈りしています。

先生の子どものことを第一に考える姿勢や、「学びの場をもっと良くしたい!」という熱い思いに触れ、私たちも多くのことを学ぶことができました。この研修が、今後の学校運営の中で少しでもお役に立てば幸いです。



教員から企業へメッセージ

子どもたちのこれからのために何ができるか、今後の学校生活で私自身がやってみたいと思える取り組みをたくさん考えることができました。普段学校という限られた環境にいる教員にとって、企業の様々な事業のお話を聞くことは、自分の考えや知識を広げるきっかけとなりました。もっとたくさんニュースを見たり、人と話したり、色々な場所に行って多くの経験をしたいと思いました。

オンライン研修にもかかわらず、実際の勤務中の映像を流していただいたり、チャレンジサポーターのお話を聞かせていただいたり、参加者同士の交流や意見交換の機会をたくさん設けていただいたりと、多くの実感を得た研修となり、とても貴重な経験となりました。



学校の中でのスタンダードと、企業や社会の中でのスタンダードは違うということを今回の研修で改めて実感しました。子どもたちはいずれ学校を卒業し、社会へと旅立っていきます。私たち教員は、未来の社会を担う人材を育てているのだという自覚をもち、絶え間なく変化し続ける社会に対応できる人材を育成していかなければならない、と強く感じました。

研修で教えていただいたことはとても勉強になり、役立つことばかりでした。子どもたちへの教育を行っていく中で、企業の話をしたり、企業が行っている環境問題への取り組みを伝えたりすることで活用していきたいと思います。企業が取り組んでいることは、学校現場や指導においても共通する重要なことばかりだと、学ぶことができました。

企業の視点や考え方を知ることで、教育現場を客観的に見て「持続可能な社会に向けて、学校として、教員としてできることは何だろう」と考えることができました。また、同年代の先生や企業の方と意見交換をすることができ、中堅教員としての役割や自分のキャリアプランについても見つめ直すことができました。今回の研修での気付きや学びを日常の職務に活かしていきたいと思います。

教員の民間企業研修レポート2021

CONTENTS

はじめに	2
2021年度 教員の民間企業研修の概要	6
2021年度 教員の民間企業研修1年の流れ	8
教員の民間企業研修 Q&A	10
アンケート集計	企業アンケート 12
	教員アンケート 13
	教員からの反響が大きかったプログラム 15
経済広報センター 教育支援活動	16
クローズアップ 受け入れ企業紹介	17
活用事例	授業における活用事例 20
	学校運営における活用事例
企業別研修レポート	27
2021年度 協力企業一覧・参加教育委員会一覧	49

[用語解説]

CS……………お客さま満足(度)

CSR……………企業の社会的責任

SDGs……………持続可能な開発目標

企業別研修レポート

CONTENTS

旭化成株式会社	28	株式会社TBSホールディングス	39
朝日生命保険相互会社		一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)	
株式会社伊予銀行	29	東京海上日動火災保険株式会社	40
株式会社INPEX		東京ガス株式会社	
SMBC日興証券株式会社	30	株式会社東京証券取引所(株式会社日本取引所グループ)	41
ENEOS株式会社		中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社	
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社	31	日本アムウェイ合同会社	42
大阪ガス株式会社		日本製鉄株式会社	
株式会社大林組	32	一般社団法人日本損害保険協会	43
オムロン株式会社		野村ホールディングス株式会社	
オリックス株式会社	33	古河電気工業株式会社	44
カシオ計算機株式会社		みずほ証券株式会社	
川崎重工業株式会社	34	三菱地所株式会社	45
キッコーマン株式会社		三菱重工業株式会社	
キューピー株式会社	35	三菱商事株式会社	46
清水建設株式会社		三菱マテリアル株式会社	
一般社団法人情報サービス産業協会	36	メタウォーター株式会社	47
一般社団法人信託協会		森永乳業株式会社	
住友重機械工業株式会社	37	株式会社りそなホールディングス	48
双日株式会社			
SOMPOホールディングス株式会社	38		
TIS株式会社(TIS インテックグループ)			

2021年度 教員の民間企業研修の概要

教員の民間企業研修とは？

小・中・高等学校などの教員が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムです。
全国各地の民間企業や教育委員会などの協力のもと、一般財団法人 経済広報センターが1983年から実施しており、今年で38年目を迎えます。

研修の目的

- ① 小・中・高等学校などの教員に、企業活動の考え方、企業の環境問題への取り組みなどについて理解を深めていただく。
- ② 企業研修での体験を子どもたちへ伝えていただくとともに、今後の学校運営などにも活かしていただく。

2021年度の研修概要

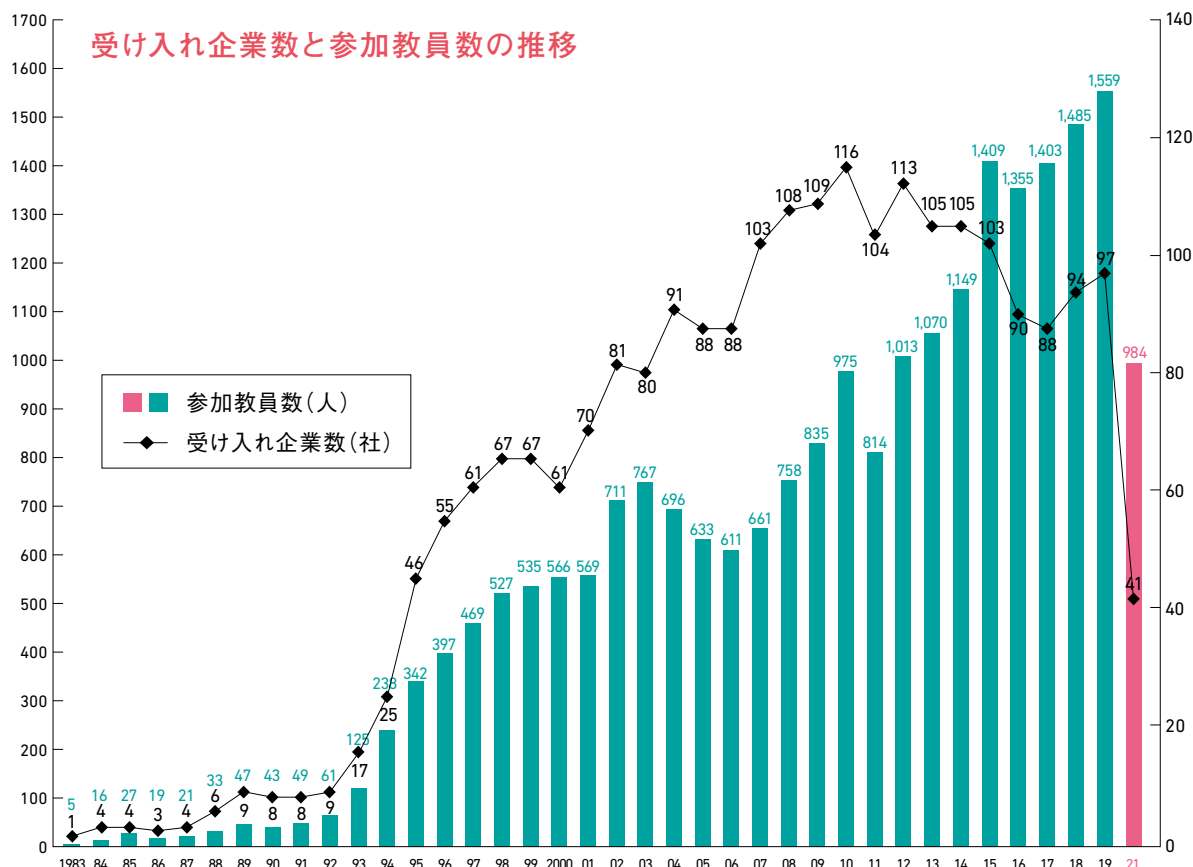
- 【研修参加者】 小・中・高等学校の教員・管理職（教頭）など
- 【研修時期】 8月16日～8月23日（学校の夏休み期間中）
- 【研修期間】 1～3日間
- 【受け入れ企業数】 41社 [2019年度は対面形式にて97社]
- 【参加教員数】 984人 [2019年度は対面形式にて1,559人]
- 【研修の内容】 体験型プログラムや講義プログラムなどが多数用意されており、受け入れ企業ごとにプログラムは異なります。
※詳しくは「企業別研修レポート」のページをご覧ください。

2021年度の研修の特徴

- ① 初のオンライン研修 約1,000人の教員が参加
研修期間に政府より緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が発令されたことにより、今年度はすべての研修がオンライン形式での開催となりました。
- ② オンラインならではの研修プログラムを実施
一方的な講義だけでなく、オンラインならではの参加・体験型の研修を実施する企業が多数見られました。
- ③ 研修での体験を踏まえ、学校現場で活用
今年度も参加教員に、研修で学んだことを教育現場で活用していただきました。

データで見る教員の民間企業研修 (1983-2021)

受け入れ企業数と参加教員数の推移

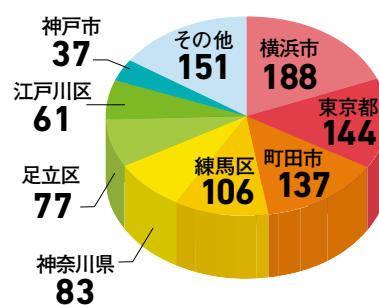


※2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、開催を中止とした。

2021年度通算10年以上研修受け入れ企業 (24社)

大阪ガス	30年
東京ガス	30年
オムロン	29年
ENEOS	24年
日本製鉄	24年
三菱地所	22年
三菱マテリアル	22年
SMBC日興証券	21年
野村ホールディングス	21年
三菱重工業	21年
三菱商事	20年
キッコーマン	19年
東京証券取引所	19年
カシオ計算機	17年
りそなホールディングス	16年
SOMPOホールディングス	15年
信託協会	14年
大林組	13年
TBSホールディングス	13年
双日	12年
TIS	11年
東京海上日動火災保険	11年
旭化成	10年
伊予銀行	10年

教育委員会別 参加教員数内訳



研修の実施地域	教育委員会	実施企業
北海道	—	—
東北	—	—
関東	15団体	37社
中部	—	—
近畿	3団体	4社
中国・四国	1団体	1社
九州・沖縄	—	—
合計	19団体	42社

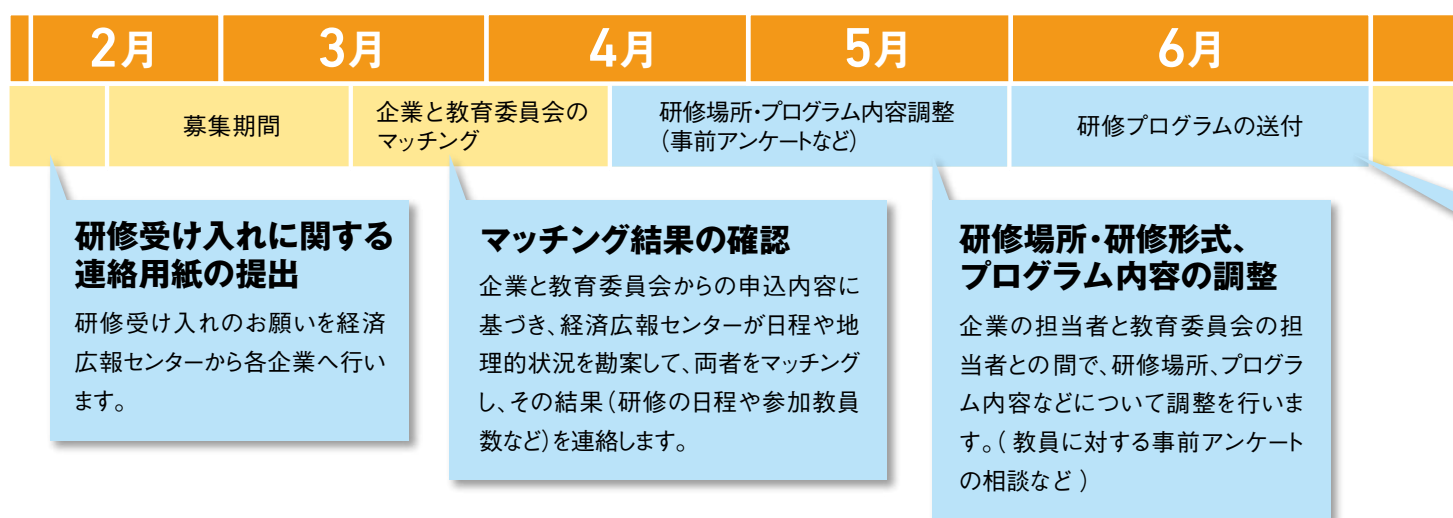
※実施企業は延べ数

2021年度 教員の民間企業研修1年の流れ

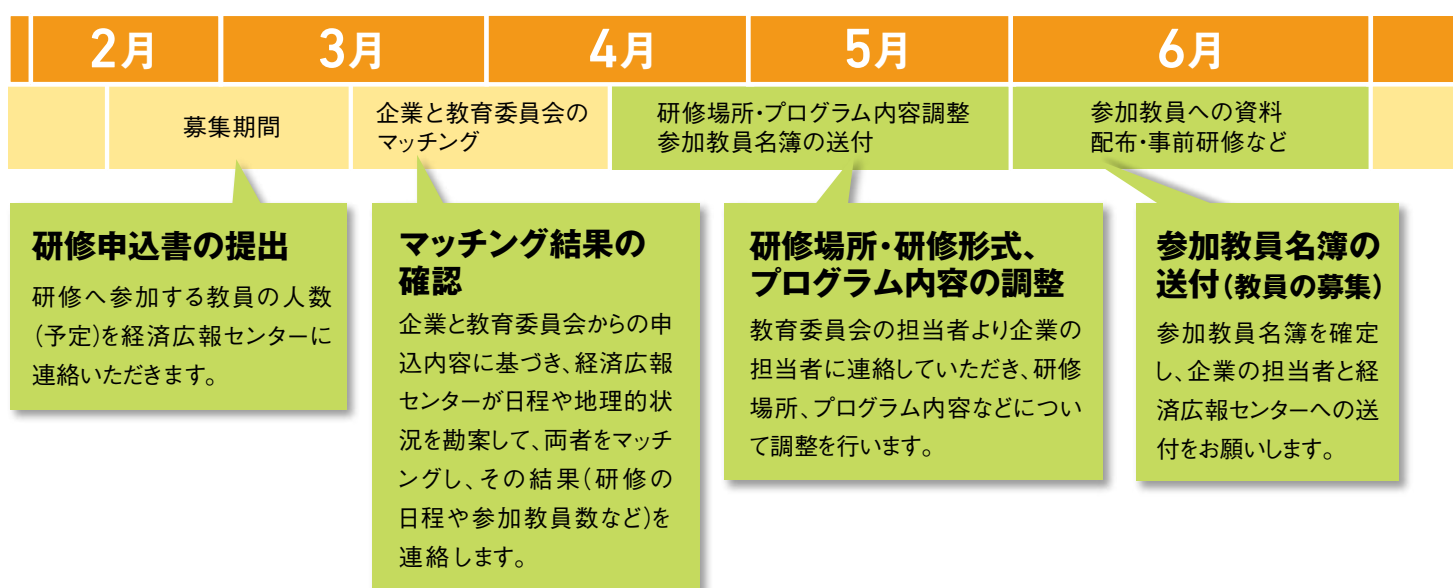
このプロジェクトは、企業、教育委員会（私学団体）、学校、
そして参加いただく教員の皆さまの協力によって運営されています。

■ 企業 ■ 教育委員会 ■ 教員 ■ 経済広報センター

企業の流れ



教育委員会の流れ





7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
	研修期間 8/16～8/23	レポート作成				レポート 完成

研修プログラムの送付、 参加教員の確定

教育委員会と経済広報センターへの
送付をお願いします。

写真とアンケートの提出

研修中に撮影した写真、および研修
内容についてのアンケートを、経済
広報センターまで送付いただきます。

レポート原稿案の確認

アンケートを基に、経済広報
センターで作成したレポート原
稿案を送付します。内容の確認
をお願いします。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
	研修期間 8/16～8/23	レポート作成				レポート 完成

参加者への意識付け

研修開始前、事前研修など
で、プログラムや本レポートなど
を用い、各教育委員会から教
員への研修参加に対する意
識付けをお願いします。
(心構えや、学びたいことを事
前に考える)

振り返り課題 の提出

研修の内容につい
てのアンケート(振
り返り課題)の提
出をお願いします。

活用事例 の提出

授業などで活用した事例
の提出をお願いします。
※レポートに掲載させていただ
く代表事例については写真の
提出をお願いする場合があります。

レポート原稿案の確認

アンケートを基に、経済広報
センターで作成したレポート原
稿案を送付します。内容の確認
をお願いします。

研修終了後、体験を子どもたちに伝え、学校現場に活かして
いただくよう、参加教員へのお声掛けをお願いします。

皆さまの疑問にお答えします。

教員の民間企業研修 Q&A

研修全体

Q1 経済広報センターの役割を教えてください。

A1 経済広報センターは、日本経済団体連合会（経団連）の関連組織で、経済界の考え方や最新の企業活動を教育界や一般消費者などにお伝えする広報活動を行っています。「教員の民間企業研修」は教育界向けに行っている事業のひとつであり、経済広報センターは、企業と教育委員会の間で、研修実施の日程、人数の調整（マッチング）、取りまとめ、報告レポートの作成を行っています。

Q2 教員の参加企業はどのように決まるのですか。

A2 受け入れ企業と参加教育委員会を募集し、双方の希望日程・地理的条件などを勘案して、経済広報センターにてマッチングを行います。個別の教員の派遣先は、教育委員会が調整・決定します。

企業の皆さまへ

Q3 教員からの要望の多いプログラムを教えてください。

A3 一般的にご要望が多いのは、人材育成やCSR・SDGs、CSや環境への取り組み、お客さま対応、リスクマネジメントなどの取り組みです。また、工場などの現場見学、営業活動や作業の体験、社員との意見交換などもご要望の多いプログラムです。出前授業など子ども向けのプログラムの紹介や、すぐに授業に応用できそうな研修内容は、より反響が大きいプログラムのひとつです。（P.14 課題意識や期待、P.15 反響が大きかったプログラム参照）

Q4 事前に、研修内容に関する教員のニーズや、実施に当たっての必要事項を確認したいのですが。

A4 マッチング後、教育委員会を通じて、教員に対する事前アンケートを実施していただけます（5月初旬頃）。個人情報に関わる質問についてはお受けできない場合がございますので、アンケートの内容は事前に教育委員会と調整していただきますようお願いいたします。

Q5 事前に、研修内容について参加教員と直接打ち合わせをすることはできますか。

A5 参加教員が決まるのは、例年5月末頃となり、教育委員会と学校を通してのご連絡となるため、スケジュールの都合上、難しいといえます。教育委員会と調整の上、研修内容を検討いただきますようお願いいたします。

Q6 参加教員に連絡したい場合はどうすればよいですか。

A6 個人情報保護の観点から、教員への連絡は、教育委員会を通じてお願いします。

Q7 一度提出した研修プログラム案について一部変更したい場合、どのようにすればよいですか。

A7 例年6月末頃までにご提出いただく研修プログラム案について変更が生じた場合、変更後のプログラム案を教育委員会と経済広報センターに速やかにご提出ください。また、参加教員には教育委員会と学校を通してのご連絡となることから、プログラム案の変更に当たっては研修実施までに時間の余裕をもって行っていただきますようお願いいたします。

Q8 教育委員会や、教員の年次、担当教科などを指定することはできますか。
A8 企業と教育委員会のマッチングは、できる限りご要望に沿えるよう調整いたしますが、それぞれの実施・参加可能な日程、場所など物理的な条件を踏まえて決めるため、必ずしもご要望に応じることが可能とはいえません。

Q9 研修をその後の企業活動に活用している事例があれば教えてください。
A9 参加教員とのつながりを大切にし、出前授業への展開や企業情報の提供、教育現場についての情報交換など、相互理解促進の機会に活用している企業もあると聞いています。

Q10 研修中、保険に加入いただきたい場合はどうすればよいですか。
A10 必要に応じて、各教育委員会にご相談・ご確認をお願いします。

教育委員会の皆さまへ

Q11 研修プログラム(人材育成、お客さま対応、危機管理など)について企業に希望することはできますか。

A11 マッチング後、受け入れ企業の担当者との間で、プログラム内容や研修場所などについて調整していただきます。その際に希望するプログラムや課題意識をお伝えください。受け入れ企業にはそれぞれの事業特性があるため、全てのご希望に沿うことはできないかもしれませんが、教育委員会と受け入れ企業が共通の目的意識をもって研修を実施することで、研修効果は高まります。

Q12 人事異動などで、参加教員数に変更になりました。どうすればよいですか。

A12 変更を把握された時点で、速やかに経済広報センターにご連絡ください。受け入れ企業の準備に影響がありますので、企業へ参加教員名簿を送付した後については、企業のご担当者へも必ずご連絡ください。

Q13 教育委員会の職員が傍聴したい場合はどうすればよいですか。

A13 企業のご担当者にご確認ください。なお、入館手続きやセキュリティの問題があるため、必ず事前にご連絡をお願いします。

Q14 より有意義な研修とするために、研修前後でどのような取り組みをしたらよいですか。

A14 ある教育委員会の事例、および期待する姿についてご紹介します。

研修前（6、7月頃）

参加教員を集めて事前研修を行い、研修の意義や目的を明確にするとともに、疑問点などを解消することで、参加教員の目的意識や意欲を向上させる工夫をします。

研修後

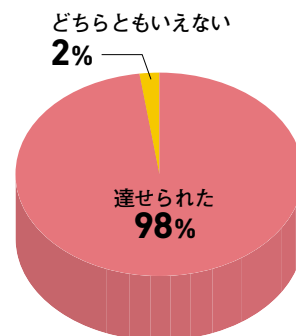
- ・実践発表の場で、自分が研修を受けた企業以外の研修内容を学ぶ機会をつくります。
- ・グループ討議によってさらに発展させ、学校現場でどのように活用できるか、具体的に検討する機会を設けます。
- ・さらに、研修後の活用状況を振り返り、体験の定着を図るとともに、来年度以降の活用方法を再検討します。

Q15 個人での参加申し込みは可能ですか。

A15 原則、教育委員会を通じての申し込みとなりますが、経済広報センターまでお問い合わせください。

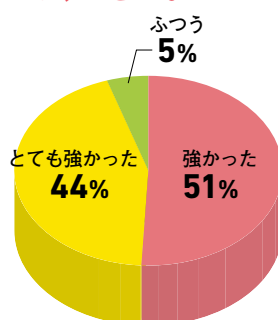
1 本研修の目的（企業活動を正しく理解してもらい、研修の体験を子どもたちに伝えていただく、今後の教育活動に活用していただく）は達せられたと思いますか。

1. 達せられたと思う、
達せられるであろうと思う ———— 40
2. どちらともいえない ———— 1
3. 達せられなかったと思う、
達せられないと思う ———— 0



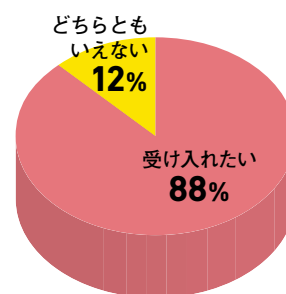
2 今年度の研修に参加した教員の学ぶ意欲を5段階評価してください。

1. とても強かった — 18
2. 強かった — 21
3. ふつう — 2
4. 弱かった — 0
5. とても弱かった — 0



3 来年も本研修を受け入れてもよいとお考えになりますか。

1. 受け入れたい — 36
2. どちらともいえない — 5
3. 受け入れたくない — 0



4 今年度の研修を振り返って、良かったこと、評価することは何ですか。また、ご意見・ご感想を教えてください。

企業理念・事業活動についての理解促進

■ 自社製品・技術がどのように日常生活に役立っているかを伝えることができたとともに、これまでの事業多角化の流れとその背景にある当社ならではの社風・考え方を感じていただけたと思います。

■ 当社の社内制度を中心にお伝えしました。受講者から「教育現場でも取り入れられるよう検討したい」とのコメントをいただいたのは評価できるポイントだと考えております。

人材育成の取り組み

■ 学校と企業では環境は異なりますが、人材育成は共通のテーマです。企業スポーツ推進の講義の中で関連な意見交換を実施できた点が良かったと感じています。

■ 当社グループの事業や人材育成などの取り組みをお伝えするだけでなく、企業の中にいる人間がどのようなことを感じ、どのように社会に貢献しようと考えているのかを少しでも知っていただく機会になったのではないかと思います。

教員からの学び、新たな発見

■ 「子どもたち」と「お客さま」、相手は違えども「相手を理解し、相手の視点で考えること」は企業と教育現場の共通するところであり、当社としても共感し学ぶところが数多くありました。

■ 様々なプログラムを通じて当社グループの事業や思いをお伝えしたことで、当社をより身近に感じていただけたようになったのではないかと思います。教員の皆さまより率直な感想やご質問を多くいただけたことで、当社としても新たな気づきをいただきました。

CSRの取り組みや地域社会への貢献

■ 企業が今まさに注力しているサステナブルな世界の実現への取り組みについて、日本の将来を担う子どもたちへ伝えていただけると感じました。

教員との認識の共有・共感

■ 教員の皆さまから「学校と企業は全然違うと思っていたが、『人の成長を支援する』という点で共通点があると思った」「市販されている商品に対してポジティブな印象が変わった」というコメントをいただき、企業に対する理解度やイメージの向上を図ることができうれしく思います。

オンライン形式での研修

■ 教員の皆さまは対面での研修と変わらない積極的な姿勢で参加くださり、大変有意義な時間でした。

■ オンラインでの研修にもかかわらず、先生方は具体的な課題認識や高い期待を持って参加されていました。最後まで集中力と意欲をもって取り組んでくださったことに感銘を受けました。

[2021年度実施] 教員 アンケート集計

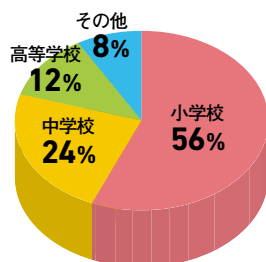
サンプル数=971

※%の数値は四捨五入のため、合計が100にならない場合があります。

1 所属する学校を教えてください。

1. 小学校 — 548
2. 中学校 — 235
3. 高等学校 — 114
4. その他 — 76
(幼稚園、特別支援校など)

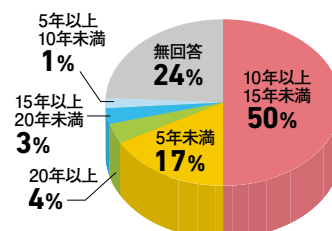
[複数回答 2]



2 教員任用年数を教えてください。

1. 5年未満 — 166
2. 5年以上10年未満 — 14
3. 10年以上15年未満 — 484
4. 15年以上20年未満 — 32
5. 20年以上 — 40

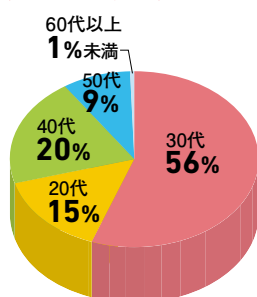
[無回答 235]



3 該当する年齢区分を教えてください。(2021.4.1現在)

1. 20代 — 147
2. 30代 — 539
3. 40代 — 199
4. 50代 — 83
5. 60代以上 — 3

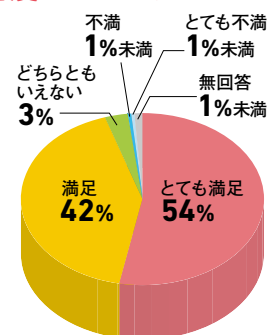
[複数回答 2]



4 本研修に対する満足度について教えてください。

1. とても満足 — 522
2. 満足 — 408
3. どちらともいえない — 33
4. 不満 — 3
5. とても不満 — 1

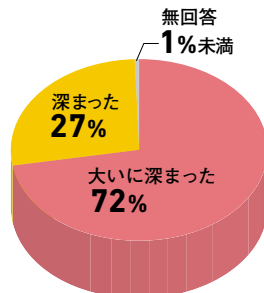
[無回答 4]



5 本研修を通して、企業の様々な取り組みや考え方などについて、理解は深まりましたか。

1. 大いに深まった — 700
2. 深まった — 267
3. 変わらない — 0

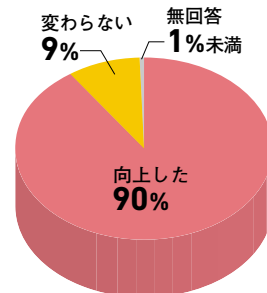
[無回答 4]



6 本研修を通して、企業のイメージに変化はありましたか。

1. 向上した — 878
2. 変わらない — 89
3. 低下した — 0

[無回答 4]

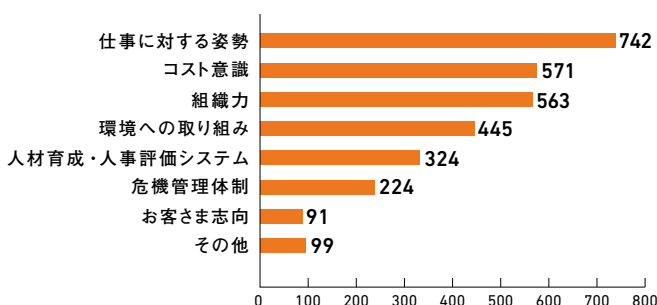


7 研修での体験を誰に伝えたいですか。[複数回答]

- 子どもたち — 836
- 学校の同僚 — 667
- 学校の管理職 — 158
- 保護者 — 96
- その他 — 75

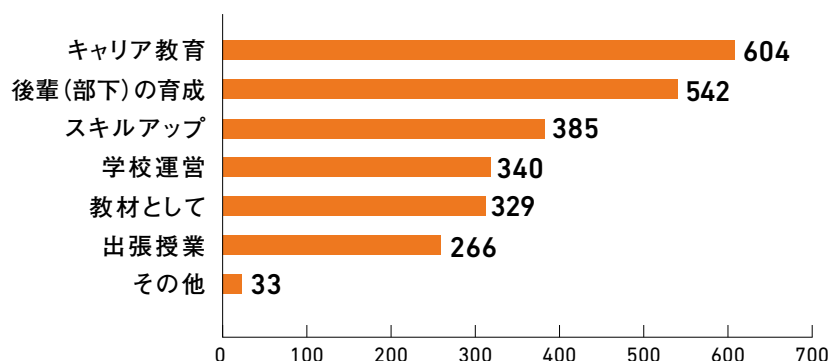
0 100 200 300 400 500 600 700 800 900

8 本研修で企業から学んだことや、参考になったことは何ですか。[複数回答]



9

本研修で学んだことや気付いたことは、通常授業で活用するほか、今後の教育活動においてこういった活用ができると思いますか。[複数回答]



10

本研修に対して、どのような課題意識や期待をもって参加されましたか。

企業理念・企業姿勢・事業活動の考え方や取り組み

- 本校の校内研究テーマであるSDGsへの取り組みを中心に、自身の考え方やスキルを向上させたいと考え、研修に臨みました。
- 海外へ商品を展開している企業が、言葉や文化の相違をどのように乗り越えているのかに興味をもちました。
- 企業の理念や人材育成の考え方、環境問題への取り組みなどを知り、理解を深めることで、今後の学校運営や指導に活かしたいと思いました。

人事制度・人材育成・働き方改革の取り組み

- 人材マネジメントや組織の組み立て方について、自分の分掌の中でできる適材適所を明らかにする形で整理し、管理職に提案したいです。
- コロナ禍における自宅勤務(リモート勤務)の状況や推進への取り組みについて知りたいです。
- IT技術を駆使して業務や働き方の効率化を図っているという研修内容を見て、教育現場でここ数年、急速に進むICT化と重ね、関心をもちました。

CSR・環境・社会貢献・CS・お客さま対応の取り組み

- サステナビリティや環境問題に対する、企業の具体的な取り組みを知り、授業で生態系保全や環境問題について子どもたちに考えさせる際に、その内容を提示し、考えるきっかけとしたいです。
- 政府が掲げているカーボンニュートラルについて、利益を出さなくてはならない企業としてどのように取り組んでいるか知りたいです。
- 企業ホームページに「事業を通じた社会課題への貢献」と記載があったため、具体的な取り組みについて詳しく知りたいと思いました。

- 保護者対応への課題意識があり、お客さまへの姿勢や対応から、接し方を学びたいと思いました。

情報管理・危機管理への取り組み

- 労働災害の原因と予防への取り組みについて詳しく知り、学校内におけるけがや事故への予防について活かせるようにしたいです。
- 企業ならではのリスク回避の仕方や職場環境のマネジメント方法を知っておきたいと思いました。
- スムーズな学校運営において、教職員の共通理解が不可欠ですが、学校よりも職員の人数が多い企業では、どのような組織・情報管理を行っているのか教えていただきたいです。

授業での活用

- 企業における持続可能な取り組みについて情報収集をしたいと考えていました。教育現場と企業とが連携を図り、SDGsについて学ぶカリキュラムが考えられたらと思いました。
- 企業の仕事内容や働くことへの意義などを直接知る機会がないため、これから社会へ出る子どもたちにどんな力や資質が求められているか学びたいと考えました。
- お金の教育、消費者教育を自分が担当している家庭科の授業で、更に充実させていきたいです。子どもたちの未来のために、キャリア教育やライフプランを考えていくことが大切だと思いました。

教員からの反響が大きかったプログラム

2021年度の研修プログラムの中で、教員から「特に印象に残った」との回答が多く寄せられたものを「講義」と「体験」に分けて、それぞれご紹介します。

講義プログラム

企業理念・事業戦略

■「経営理念＝学級目標」という視点で話を聞くと、学級目標をどのように設定するか、目標達成に向けてどのように行動指針を確立するかがいかに大切なことであるか分かりました。

■ステークホルダーマネジメント(調整力)を高めるためには、コミュニケーションと細かい分析が大切なのだと学びました。教職員とのコミュニケーションを日頃から大切に、組織的かつ計画的にプロジェクトや業務を遂行したいです。

人材育成の取り組み

■企業には明確な人材育成方針があり、集団としても個人としても互いに技術や能力を高め合うシステムは参考にしたいと思いました。

■「正解のないことを求める」ということが、企業の発展のための課題であるとい、学校教育の中でも、正解のない課題について、探求する過程を大切にしていかなければならないと感じました。

■若手の教員へアドバイスをする機会が多くなってきたので、相手のコミュニケーションスタイルのタイプを意識して話をするようにしたいと思いました。

グローバル化、多様化する世界と教育の重要性

■これまで物事を捉える際、自然と「日本から世界」を見ていましたが、「世界から子どもたちの未来」を見るという視点に感銘を受けました。

■個人が大切にしている価値観に優劣はないという姿勢のもと、子どもたちにお互いの違いを尊重し理解することの大切さを指導したいと改めて感じています。

CSR・環境への取り組み・社会貢献活動

■子どもたちにSDGsについて教えるときに、具体的に企業がどのような場所でどのような取り組みを行っているか、実践例として伝えたいと思いました。

■環境を題材に扱う教材は多く、子どもたちも環境問題について考える時間があります。教員が企業の取り組みを理解し、それを伝えていくことがより明るい未来を構築していくために大切なことであると感じました。

DX(デジタルトランスフォーメーション)

■企業として社会のために取り組んでいることの事例紹介があり、デジタルとアナログを融合した取り組みなど大変興味深い内容でした。

体験プログラム

オンライン見学

■普段入ることのできない現場にVRという最新技術を用いて、臨場感をもちながら見学できました。

■オンラインで実際の工場見学の映像を見ることができ、普段当たり前に使っている商品がどのように作られているかがよく理解できました。

マナー研修

■ビジネスマナーの基本となる考え方や作法、実践例など発問を交えながら話していただき、分かりやすかったです。

■コロナ禍によってオンラインの商談が増えたことで、ビジネスマナーにも変化が生じていることを学ぶことができ、興味深い内容でした。

授業プランの作成

■教員同士で話し合いながら授業プランを作成することで、学んだことをどう活かすことができるかを考えることができました。また、他グループの発表を聞き、アイデアを広げることができました。

■研修で使ったリアルタイム投票サービスを使えば、手軽に情報や意見を集約でき、視覚的に確認しやすいと感じたため、授業内でも活用してみたいと思いました。

お客さまサービスに関する研修

■サステナブルな商品がどのように販売されているかについて、他の教員と情報共有することで理解が深まりました。

■無駄を恐れず、一見無さそうなアイデアを追求して広げるなど、豊富な経験、実績に基づいたポイントや考え方を体験できました。

危機管理

■過去の事例にとどまらず、変化する点を捉えて新しい対策を取り入れる姿勢から、変わることの難しさと大切さを学びました。

■危険体験シミュレーションにより、事故の怖さを経験することで、事故を未然に防ごうという教育が行われていることに驚きました。

社員との懇談

■同じ中堅という立場の方と話ができた貴重な時間でした。異なる職種であっても同じような悩みがあったり、喜びがあったりすることを知ることができました。仕事に対して誇りや夢をもつ気持ちの大切さに気付かされました。

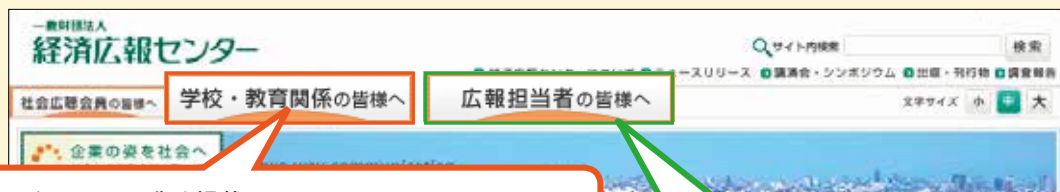
経済広報センター 教育支援活動

経済広報センターでは、企業・団体が学校教育のために実施している「出前授業」「工場や施設の見学会」「体験教室」「教材提供」などの情報を提供しています。ぜひご利用ください。

経済広報センター

検索

経済広報センター HPトップページ



■本レポートのWEB版を掲載

■企業のSDGs、環境問題への取り組み、金融や工業・貿易・流通のしくみ、エネルギー問題についての教材を紹介



企業・団体が提供している「出前授業」「工場や施設の見学会」「体験教室」「教材提供」など学校教育に活用できるプログラムの情報を紹介



企業の教育支援ガイド内検索

企業・団体名で探す

あかたなはまやらわ

業種で探す

業種を選択してください。

プログラムで探す

プログラムを選択してください。

地域で探す

地域を選択してください。

キーワードで探す

企業名・業種・タイトルなどで検索できます。

検索

リセット



企業の教育支援ガイド

企業・団体が提供している、学校教育にご活用いただけるプログラムを掲載しています。

対象プログラム：

企業・団体が学校教育のために実施している「出前授業」「工場や施設の見学会」「体験教室」「教材提供」など

掲載情報：

経済広報センター会員機関などを対象に行ったアンケート調査に回答のあったもの

※内容に変更がございましたらお知らせください。

業種や地域、プログラムで検索できます！

クローズアップ 受け入れ企業紹介

企業紹介

キューピー株式会社	18
森永乳業株式会社	19

研修にご協力いただいた企業の中から、2社の取り組みをクローズアップしてご紹介します。

民間企業研修への参加目的、プログラムのポイント、先生方への応援メッセージに加え、各企業のCSR活動を掲載しています。

キューピー株式会社

企業研修レポート P.35

教員の民間企業研修

■参加目的

創業以来大切に受け継いでいる「想い」や事業活動を通じて実現したい「めざす姿」、企業の概要を知っていただき、教育現場との違いや共通点を感じていただきたいと思います。また、教育現場と企業という違いはありますが、人生100年時代において一人ひとりが健康で幸せに生きる力を身に付けるための「成長の支援」について、「互い」に気づきや学びを得られる場にしたいという思いから参加しました。

■プログラムのポイント

研修を通じて、当社について理解を深めていただくだけでなく、教員の皆さまからたくさんの学びを得られる場にしたいという思いから、社員とのコミュニケーションの時間を多く取れるよう工夫しました。また、それぞれ所属する教育現場も異なるということから、教員同士の交流も期待してプログラムを検討しました。

＼ココに注目！／

見学施設の1つ「マヨテラス」をオンラインで体感いただきました！



研修中の様子



研修風景



マヨテラスを体感

■研修を終えて

教育現場と企業では業種は異なりますが、教員の皆さまとお話をさせていただき改めて「人の成長を支援する」という意味で通じ合えるものがあると思いました。子どもたち一人ひとりが幸せで健やかに成長し続けられるよう、今回の研修で何かヒントを得ていただければ幸いです。私どもも教員の皆さまからいただいた気づきを今後の活動に活かして参ります。

CSR活動

当社は創始者の「食を通じて社会に貢献する」という精神を受け継ぎ、社会課題の解決に取り組んでいます。商品を製造する工程で発生する野菜や卵の未利用部の有効活用やCO₂排出量の削減など、地球環境への取り組みに加え、「健康寿命の延伸への貢献」としてサラダとタマゴによるバランスの良い食生活のサポート、「子どもの心と体の健康支援」として食育活動や子どもの居場所づくりの支援を行っています。



オンラインマヨネーズ教室



キャベツ未利用部を食べる牛

森永乳業株式会社

企業研修レポート P.47

教員の民間企業研修

■参加目的

私たちは次世代を担う子どもたちの成長支援に取り組んでいます。教育現場への提供価値を高めるとともに、教員の皆さまとの対話を通じて得られる知見を企業活動に活かすため、本研修に参加しています。

■プログラムのポイント

社会の持続性を高めるため企業が取り組むサステナビリティ推進を軸に、研究分野・人財育成・広報IR活動・マーケティング・商品製造など、企業活動を幅広く学んでいただき、サステナブルな未来をつくる子どもたちへの授業プログラムを考案いただきました。



同世代社員との意見交換



ワークショップを体験

＼ココに注目！／

サステナブル(持続可能)に資する学校と企業のコラボレーション企画を考えていただきました！



コラボレーション企画を考える

■研修を終えて

3日間、オンラインによる研修は初めての試みでしたが、双方向の対話を取り入れ、当社の企業理念を基にした事業活動やサステナビリティへの取り組みをお伝えしました。学校での授業運営にお役に立てれば幸いです。また当社にとっても教育現場の課題を知る良い機会になりました。教員の皆さま、研修への積極的なご参加、誠にありがとうございました。

CSR活動

「かがやく“笑顔”のために」のコーポレートスローガンに基づき、健康・栄養・環境、次世代成長支援などの課題に取り組み、子どもたちの健やかな成長を応援するため、食育出前授業や企業訪問、野外活動、スポーツ支援などの活動を行っています。サステナブルな社会の実現に向けて、心とからだの両面からお客様の健康を支え、幸せな生活に貢献する企業であり続けるために、事業活動を展開していきます。



森と食の探検隊



オンライン出前授業

活用事例

学校での活用事例

■授業における活用事例[研修先企業名]

〈対象学年順〉

3Rについて [日本製鉄株式会社]	21
地球の水はどのように循環しているのだろうか? [メタウォーター株式会社]	22
金属加工について [三菱マテリアル株式会社]	23
もし、ライフラインが使えなくなったら [大阪ガス株式会社]	24

■学校運営における活用事例[研修先企業名]

学校の「ブランド」は何かを考える [三菱地所株式会社]	25
-----------------------------	----

3Rについて

研修先企業 日本製鉄株式会社 (P.42)

研修時期 8月18日

教員 東京都葛飾区立綾南小学校 高木 奈々 先生

活用方法 小学校3年生36名を対象に総合的な学習の時間で活用

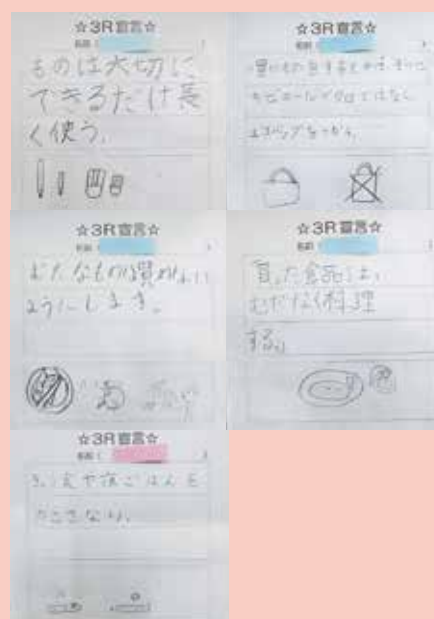
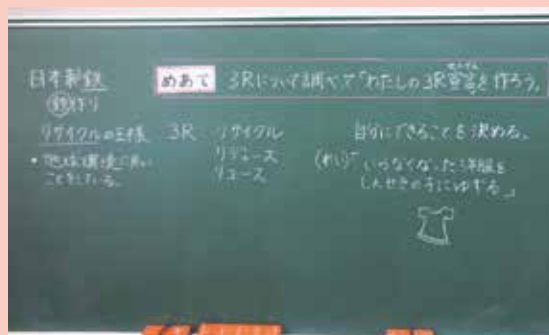
活用した日 10月15日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

鉄の作り方のYouTube「鉄は人と地球とともに」の動画を見て、鉄が環境にやさしいということが分かり、企業が地球のためにできることを考え活動していることを子どもたちに説明したいと思いました。環境を守るための取り組みを実践することの大切さやその難しさを子どもたちに伝え、地球の環境のために自分たちができることを、授業で考えてもらいました。

■活用内容

- 動画「鉄は人と地球とともに」を見せて、鉄はリサイクルの王様だということを知る。
 - 地球環境のために身近でできる3Rについて調べる。
 - 「わたしの3R宣言」を作り、発表する。
- 3R: Reduce (減らす)、Reuse (繰り返し使う)
Recycle (再資源化する)



■子どもたちの感想

- 鉄がリサイクルの王様だということを知り、びっくりしました。
- これから自分も地球にやさしいことをしたいと思いました。
- お母さんがエコバックを使っているのでもいいなと思いました。

■高木先生の感想

鉄についての動画を子どもたちに見せたいと思っていたので、今回見せることができて良かったです。集中して見ていました。リサイクルについて学び、自分たちでもできることをインターネットを活用して調べて宣言を作ることができたので、今後それを継続して行うことができているかも確認していけたらと思います。

地球の水はどのように循環しているのだろうか？

研修先企業 メタウォーター株式会社(P.47)

研修時期 8月23日

教員 東京都町田市立鶴川第四小学校 竹下 海 先生

活用方法 小学校5・6年生6名を対象に社会の時間で活用

活用した日 9月30日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

- 「なぜ水を大切に使わないといけないのか」という根本的な部分から研修で学ぶことができたおかげで、子どもたちに対してより深く授業を展開することができました。
- 浄水場と下水処理場のそれぞれの仕組みや働きを、子どもたちに分けて説明することができました。

■活用内容

- 水の循環について知る。
- なぜきれいな水を保つことができているのかを考える。
- 浄水場の主な働きを知る。
- 下水処理場の主な働きを知る。
- 自分たちの住んでいる町田市内にも施設があることを知る。
- 自分たちが水をきれいに保つために、何をすべきかを考える。



■子どもたちの感想

- 日本の水がきれいなのは当たり前だと思っていました。
- いろいろな人の努力のおかげで水がきれいに保てていることを知りました。
- 「ありがとうの気持ち」を伝えたいです。
- 近くにある施設に行ってみたくまりました。

■竹下先生の感想

動画や画像を使って子どもたちに説明することで、理解しやすい学習になったと思います。教員が一度学んだ後に授業をすると、子どもたちへのアウトプットもスムーズにいき、子どもたちからの質問にも答えられるようになりました。身近にある施設の素晴らしさを伝えることによって、興味・関心をもちやすくなったと思います。

金属加工について

研修先企業 三菱マテリアル株式会社 (P.46)

研修時期 8月18日～8月19日

教員 東京都港区立芝浦小学校 今井 健太郎 先生

活用方法 小学校6年生35名を対象に図画工作科「版画」の時間で活用

活用した日 9月27日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

図画工作科の授業内にて、「彫金」の技法についての説明をしました。その際に三菱マテリアルの研修で学んだ、銅を薄く延ばす技術を引き合いに出しました。銅や金を薄く延ばす技術は、古くは石川県の金沢などで金箔を製造する技術があります。日本の伝統技法でもあったことや、現在でも金属を薄く延ばす日本の技術が世界の最先端技術を維持しており、次世代の人材を必要としていることなどを子どもたちへ伝えました。

■活用内容

○版画の授業を行った際に、彫金やエッチングの技法を紹介する過程で三菱マテリアルの研修内容を活用しました。



■子どもたちの感想

- 金属をとてもうすぐ延ばすことができることに感動しました。
- 銅を延ばす画像を実際に見られて、しょうげきを受けました。
- 金属のリサイクルに関わる仕事をしたいと思いました。

■今井先生の感想

日本のモノづくり技術が、中国や東南アジアの国々に負けずに残っていることに安心しました。こうした技術を次世代に引き継いでいける人材を育てるために、図工の授業で研修内容を活かし、産業技術に興味・関心をもつ子どもたちを育てていきたいです。

もし、ライフラインが使えなくなったら

研修先企業 大阪ガス株式会社(P.31)

研修時期 8月18日

教員 大阪府高槻市立第三中学校 濱上 鷹也 先生

活用方法 中学校2年生38名を対象に理科の時間で活用

活用した日 10月6日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

ライフライン、インフラが当たり前に使え国だからこそ、どのような仕事の上にその安全や品質が担保されているのかということ、子どもたちにも知ってもらう必要があると感じ、実施、活用につながりました。特に「ガスが私たちに届くまで」を学び、子どもたちにも伝えたいと考えました。

■活用内容

○中学2年生を対象に、「防災教室」のハンドブックを活用しました。

高槻市は、先の大阪北部地震で被災しました。そのような経験から、子どもたちにも実感をもって伝えることができました。

ハンドブックに沿って授業を進め、食器がない時、どのように食器を作るかなど、子どもたちがパソコンなどを活用しながら調べ、解決方法を考えました。



■子どもたちの感想

- いざという時のために、災害時の工夫を考えることが大切だと思いました。
- ライフラインが当たり前にあるけど、災害の時に備える必要があると感じました。
- ガスや電気が届くまで、いくつもの仕事があると分かりました。
- ライフラインがあることに感謝したいです。

■濱上先生の感想

私たちが子どもたちも、ライフラインが整備された日常が当たり前になっています。そんな当たり前に用意されている環境がいかにありがたいものか、また、仕組みや仕事を伝えることで子どもたちにも理解が深まったように感じました。災害時は様々な工夫が必要で、特に、子どもたちはアルミホイルが防寒や食器など、多面的に使えことに驚いていました。災害、防災教育の中に、「ライフライン」の教育が必要だと感じました。

学校の「ブランド」は何かを考える

研修先企業 三菱地所株式会社 (P.45)

研修時期 8月16日

教員 東京都立豊島高等学校 中平 枝里子 先生

活用方法 教員15名を対象に教員研修の時間で活用

活用した日 9月上旬

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

研修プログラムで「ブランドとは何か」ということについて学び、三菱地所が常にコーポレートブランドスローガン「人を、想う力。街を、想う力。」を意識して「街づくり」をしていることを感じました。学校においても、「学校のブランド＝強み」をしっかり意識して学校運営をすることが必要だと思い、教員間で話し合い、共有することにしました。

■活用内容

- 教員研修の時間に、学校経営について話し合う時間を設けました。
- 「本校の強み」や、本校にとっての「ステークホルダー」とは何か、ステークホルダーに対して何を約束するかを話し合いました。学校ごとに「学校経営計画」というものがあるので、それと合わせて本校のブランドについて話し合い、実現するための具体的な行動についても話し合いました。



■教員の感想

- 学校経営計画を今まで以上に理解して行動していきたいです。
- 学校の関連機関に近隣住民や進学先・就職先が含まれるという考え方が斬新で、視野が広がりました。
- 学校経営計画から本校のブランド、強みは何かを考えることで、自身の取るべき行動が見えてきました。

■中平先生の感想

「学校経営計画」について教員同士で話したり、具体的にどうするかを考えたりすることで、学校としての目標を一人ひとりが意識して行動する良い機会になったと思います。

企業別研修レポート

旭化成株式会社

企業からのメッセージ 旭化成グループは「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献します」を理念に掲げ、これまで約100年間時代の要請やニーズに応え、新たな分野や地域へ事業拡大を推進してまいりました。今後もサステナブルな社会の実現への貢献に努めてまいります。

受け入れ実績 10年目 実施日 8/20(金) 参加教員数 7名(東京都文京区教育委員会)

主なプログラム

- 1 旭化成グループの概要
- 2 川崎製造所の概要(映像)
- 3 振り返り

クローズアップ

旭化成グループの概要

- サステナブルな社会の実現への貢献(特に地球環境保全にまつわる活動)
- 多角化の推進とその背景にある「旭化成ならではの社風・考え方」
- 新事業・製品開発の現状と其中での川崎製造所の位置付け・特徴

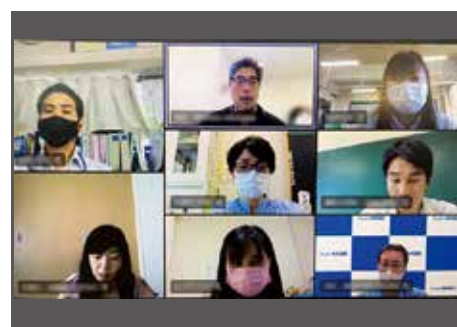
オンライン形式のため、通常実施してきた製造現場の安全教育体験企画の代わりとして、誰にとっても身近な環境保全、サステナブルな世界の実現に向けての取り組みを紹介し、教育現場でも活用しやすい情報提供をしました。

参加教員の声

- サステナブルな社会の実現に向けて、環境問題など世界が直面する課題に取り組んでいることが分かりました。
- 「昨日まで世界になかったもの」を生むために挑み続ける姿勢が、成長を続けることにつながっているのだと思いました。
- お客さま目線に立った商品開発など、企業の努力について子どもたちに伝えます。



旭化成グループの概要



研修中の様子

朝日生命保険相互会社

企業からのメッセージ 「人生100年時代を迎え、生命保険事業を通じて、社会の課題解決に貢献する会社、お客様の“生きる”を支え続ける会社」を掲げ運営している様々な取り組みや、当日の意見交換の内容を、今後の学校教育にお役立ていただければと思います。

受け入れ実績 8年目 実施日 8/23(月) 参加教員数 19名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 社会保障制度と生命保険の必要性
- 3 役員との意見交換
- 4 人財活躍推進戦略
- 5 働き方改革の取り組み
- 6 商品開発
- 7 DX戦略
- 8 SDGsの取り組み
- 9 女性活躍推進の取り組み
- 10 社員との意見交換

クローズアップ

社員との意見交換

- 入社2～3年目、8～10年目の社員との意見交換
テーマ:
 - 現在担当している業務や、本日の研修を受けて感じたこと
 - 当社社員への質問

社員との意見交換を通じ、企業の考え方や価値観を知っていただくとともに、研修を受けて感じたことや、若手ならではの悩みなどを自由にお話しいただきました。今後の学校教育の参考にさせていただければと思います。

参加教員の声

- 「誰かのために」や「その人の将来のために」という理念や熱意は教員と同じで、学ぶことがたくさんありました。
- 社員との意見交換では、職務内容は違っても、社会人としての悩みなどを共有でき、有意義な時間でした。
- 生きていく上で、自分で考え行動することが大切だと子どもたちに伝えます。



役員との意見交換



社員との意見交換

株式会社伊予銀行

企業からのメッセージ 地域社会を存立基盤とする伊予銀行の事業に対する考え方や、具体的な取り組みを紹介します。同じ地域で働く社会人として、教育と金融というそれぞれの分野で互いに啓発し、つながりあえる機会になればと考えます。

受け入れ実績 10年目 実施日 8/17(火)、8/19(木) 参加教員数 7名(愛媛県教育委員会)

主なプログラム

- 1 企業理念、銀行業務
- 2 施設見学(VTR視聴)
- 3 社会貢献、金融教育
- 4 人事制度・コンプライアンス
- 5 ビジネスマナー
- 6 意見交換

※半日の研修を2回行いました。

クローズアップ

銀行業務・ESG(環境・社会・ガバナンス)とSDGsへの取り組み

- 企業理念
- 事業トピックス
- ESGとSDGsへの取り組み

企業理念に基づく伊予銀行の業務と地域経済への関わりをお伝えします。当行が、地域の皆さまから10年後も必要とされる銀行を目指すための、デジタルの活用やESGとSDGsへの取り組みなどを紹介します。

参加教員の声

- 企業理念に基づく活動が、社会から信頼を得、地域で頼りにされ、その結果、企業価値を高めているのだと思いました。
- 電話のビジネスマナーで学んだ、相手に感謝の気持ちを込める「声のおもてなし」は、学校でも取り入れたいと思います。
- 子どもたちに、お金の大切さ、お金を自分で管理できる力の大切さを伝えます。



企業概要を学ぶ



研修風景

株式会社INPEX

企業からのメッセージ 日々の生活に必要なエネルギーを取り巻く状況を知るとともに、社会貢献の取り組み、同年代の社員との意見交換を通して、エネルギー業界や企業理解を深め、今後の学校教育に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 2年目 実施日 8/18(水) 参加教員数 16名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要、エネルギー業界を取り巻く現状
- 2 人事制度、人材育成、人事評価制度
- 3 同年代社員との意見交換
- 4 再生可能エネルギー、新エネルギー
- 5 グループワーク
 - 業務のIT化
- 6 振り返り

クローズアップ

社会人10年目の働き方について意見交換

- 人事制度、人材育成、人事評価制度の取り組み
- 同年代社員との意見交換

学校と企業という働く場所の違いはありますが、同年代社会人として組織の中でどのように働いていくのか、期待されていることなどについて意見交換を行うことで、双方に有益な気づきが得られればと思い、実施しております。

参加教員の声

- 世界のエネルギー情勢が劇的に変化する中で、より良い未来に向けて、エネルギー問題に取り組んでいることが分かりました。
- 同年代社員との意見交換で、ミドルリーダーとしての役割を、業種を超えて討議できたことがとても参考になりました。
- 子どもたちに、エネルギーを取り巻く現状や再生可能エネルギーについて話します。



秋田県八橋油田での原油掘削



オーストラリア LNGプロジェクト「イクシス」海上施設CPF

SMBC日興証券株式会社

企業からのメッセージ 証券会社の業務内容や役割、サステナビリティ推進活動やSDGs達成のための取り組みについて理解するとともに、ワークショップを通して、将来を担う次世代への金融経済教育の一助としていただければと思います。

受け入れ実績 21年目 実施日 8/20(金) 参加教員数 20名(東京都江戸川区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 サステナビリティの取り組み
- 3 障がい者雇用の取り組み
- 4 セミナー
 - 株式の基礎
 - 投資信託の基礎
 - 債券の基礎
- 5 非対面チャネルでの取り組み
- 6 金融経済教育活動
- 7 ワークショップ
 - 「先生の夏休みの自由研究」
 - 発表、意見交換

クローズアップ

金融経済教育活動

- SMBC日興証券および外部機関で行っている各金融経済教育プログラム
- 教育現場で使用できる教材・コンテンツ

学校教育の現場で活用いただけるプログラムや教材・コンテンツを紹介することで、お金や経済、投資の教育に対する理解を深め、実際の学校現場にも活かしていただければと思います。

参加教員の声

- 投資が社会貢献になるESG投資について知ることができ、投資のイメージが変わりました。
- SDGsについて、リサイクルやペーパーレス化など、学校でもできることに取り組むべきと管理職に働きかけます。
- お金の価値について、小学校低学年から段階的に教え、最終的には資産運用まで伝えたいと思いました。



Webマーケティングなどの非対面による取り組みを知る



研修中の様子

ENEOS株式会社

企業からのメッセージ 民間企業の教育体制や人事施策、ダイバーシティ施策に触れ、教育現場の変革の参考としていただくことを期待しています。また、ENEOSの事業概要説明を通じ、エネルギー安定供給への貢献を理解いただければと思います。

受け入れ実績 24年目 実施日 8/19(木) 参加教員数 40名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

- 1 事業概要
- 2 グループ理念・行動基準とESG経営に向けた取り組み
- 3 人事制度・人材育成
- 4 ダイバーシティの取り組み
- 5 人権啓発

クローズアップ

グループ理念・行動基準とESG経営に向けた取り組み

- グループ理念
- グループ行動基準
- ESG経営に向けた取り組み

ENEOSの2040年長期ビジョンを通じてESG経営とは何か、また、昨今の日本・世界が抱える課題を認識いただき、今後の学校教育に活かしていただければと思います。

参加教員の声

- 環境や社会などを意識したESG経営を目指すことが、企業として持続的な成長を可能にすることだと理解しました。
- ダイバーシティ施策の、「違いに価値を置き、違いを活かす」考え方に共感しました。
- 地球規模の課題や社会問題について子どもたちに伝え、自分の問題として捉え、行動していく力を育てたいと思います。



事業概要の紹介



2040年ENEOSグループ長期ビジョン

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

企業からのメッセージ MS&ADグループが取り組む社会課題(SDGsやCSV)についての理解促進と、ビジネス起点での課題解決アプローチ(ロジックツリーやピラミッド構造)の習得を通じて、教育現場での課題解決に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 2年目 **実施日** ①8/17(火)、②8/18(水) **参加教員数** 63名(①横浜市教育委員会、②東京都教育委員会)

主なプログラム

- MS&ADグループの概要
 - 保険会社とSDGs
- SDGsの概要とクイズ
 - SDGs17の目標クイズに挑戦
- SDGsワークショップ
 - 課題解決に必要なビジネススキル
①ロジックツリー
 - ジェンダーギャップとフードロスをテーマに議論
- MS&ADグループのCSV(Creating Shared Value)
 - CSVを軸においた経営とは
 - さまざまなCSV取り組みの紹介
- CSVワークショップ
 - 課題解決に必要なビジネススキル
②ピラミッド構造
 - 社会課題の解決について議論
- SDGsの捉え方
 - SDGsドミノ
 - SDGsウェディングケーキ
- 意見交換

クローズアップ

SDGs/CSVワークショップ

- SDGs/CSVの理解促進
- グループディスカッションによる事例解決案
- 全体発表による多様な意見・アイデアの共有

学校教育においても重要なテーマであるジェンダーギャップやフードロスの事例を取り上げ、ビジネス思考による課題解決の演習および全体共有を通じて、新たな気づきや教育現場にも有益な学習の機会になればと思います。

参加教員の声

- 思考ツールとして用いた「ロジックツリー」や「ピラミッド構造」を使い、学校の課題について考えてみたいと思います。
- ICT機器を使い、クイズ形式でSDGsについて楽しく学ぶことができました。
- ほかの人の意見を聞くことで、新しい視点に気づき、自分の考えも深まっていくことを子どもたちに体験させたいです。



ジェンダーギャップを事例とした課題解決策の提案



フードロスを事例とした課題解決策の提案

大阪ガス株式会社

活用事例 P.24

企業からのメッセージ エネルギー・環境問題や、大阪ガスおよびDaigasグループの歴史・マインド・各種取り組みについて理解を深め、自らの意志で未来を切り開き、持続可能な社会を一緒につくっていく子どもたちを育成いただきたいと思います。

受け入れ実績 30年目 **実施日** 8/18(水) **参加教員数** 14名(大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

- グループの事業内容
- 次世代教育、コミュニティ活動、社会貢献活動
- 人事制度、教育制度
- SDGs・ESGの取り組み
- 商品開発・販売活動の取り組み
- 実験集合住宅「NEXT21」見学
- 意見交換

クローズアップ

DaigasグループのESGの取り組み

- 国際社会の動向(CSR・SDGs・ESG)
- DaigasグループのESGの取り組み
- 気候変動問題へのDaigasグループの挑戦

総合的な学習の時間において、持続可能な社会の実現に関わる探究課題をテーマとして学習に取り組む際に、実際に企業がどのような活動をしているのかについて知っていただき、学校教育の参考にさせていただければと思います。

参加教員の声

- CSR・SDGs・ESGの話聞き、企業が使命感をもち、様々な事業に取り組んでいることを知りました。
- 社会人基礎力の「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」は、教育現場でも必要だと思いました。
- 常に向上心をもって前進する企業の姿勢を、子どもたちに伝えたいです。



事業内容を学ぶ



研修風景

株式会社大林組

企業からのメッセージ 建設現場とそれを支える技術開発、新領域事業への取り組みなどを紹介し、建設業の枠を超えて新しい領域を拓く大林組の挑戦を感じていただき、未来を担う世代に建設業の魅力を伝えていただければと思います。

受け入れ実績 13年目 実施日 8/19(木) 参加教員数 7名(東京都教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要説明
- 2 技術研究所オンライン見学
- 3 若手研究員との意見交換
- 4 建設現場(動画視聴)
- 5 新領域事業への取り組み
- 6 人材育成の取り組み
- 7 ダイバーシティへの取り組み
- 8 意見交換

クローズアップ

若手研究員との意見交換

- 若手研究員が研究職へ進んだ経緯や自身の就職活動の経験など
- 若手研究員の研究内容・業務内容
- 意見交換

就活指導やキャリア相談の参考となるよう、理系の就職にスポットを当てて企画しました。新卒と中途採用で入社3年目までの若手研究員が参加し、キャリアプランの多様性についても説明しました。

参加教員の声

- 会社紹介の映像で、企業の使命、途方もないスケールの仕事、働く人を大切にする姿勢などを知り、感動しました。
- 木造高層建築など、技術研究所の最新の研究内容が興味深かったです。
- 若手研究員との意見交換で、自分の興味や得意分野に突き進むことも大切だと感じ、子どもたちに伝えたいと思いました。



建設現場(動画視聴)



若手研究員との意見交換

オムロン株式会社

企業からのメッセージ 企業理念を通じて社会に貢献していく姿勢やチャレンジ精神を、研修や施設見学を通して実感していただき、今後の教育現場で活かしていただければと思います。

受け入れ実績 29年目 実施日 8/20(金) 参加教員数 9名(京都市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 コミュニケーションプラザ見学
- 3 理念浸透の取り組み
- 4 働き方改革
- 5 ダイバーシティの取り組み
- 6 オムロン京都太陽見学
- 7 振り返り・意見交換

クローズアップ

オムロン京都太陽見学

- オムロン京都太陽紹介
- 施設のオンライン見学
- 意見交換

オムロンが取り組む、障がいのある方と健常者が共に働くための「障がいがあっても、残された機能を活用し、足りないところは自動化技術で補う」というモノづくりに対する姿勢が、教育現場の課題解決の参考になればと思います。

参加教員の声

- オムロン京都太陽のオンライン見学で、一人ひとりの力が認められ、支え合える場がいかに大切かを学ぶことができました。
- 多様性を認め、いろいろな意見を聞き、新たな意見を生み出していけるよう、学級や職員室などで声掛けしたいと思います。
- チャレンジすることは素晴らしいことだと、子どもたちに伝えます。



理念浸透の取り組みについて学ぶ



オムロン京都太陽の取り組みを知る

オリックス株式会社

企業からのメッセージ オリックスは、お客さまや社会の多様なニーズにいち早く対応する中で、リースを起点に隣接分野に進出し、常に新しいことに挑戦し続けています。こうした企業姿勢に触れていただき、今後の教育活動の一助になればと思います。

受け入れ実績 8年目 実施日 8/18(水) 参加教員数 24名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 カーボンニュートラルと再生可能エネルギー事業
- 3 オリックス・レンテック東京技術センター
 - 事業紹介
 - 映像
- 4 グループ人事部
 - 職場改革
 - コー칭研修

クローズアップ

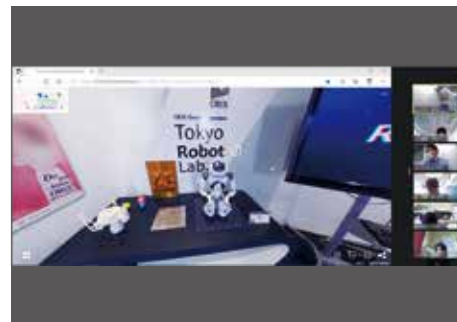
カーボンニュートラルと再生可能エネルギー事業

- 再生可能エネルギーについての国の動き
- オリックスの関連事業
- オリックスの地熱発電事業をクイズを交えて紹介

昨今、世界的に注目を集めている再生可能エネルギーについて、国のエネルギー政策とともにオリックスの発電事業を交えたプログラムを行い、教員の理解を促し、気候変動などSDGs教育のヒントとしていただければと思います。

参加教員の声

- カーボンニュートラルについて、世界の動向、日本の施策、企業としての取り組みを詳しく知ることができました。
- 幅広い事業の根底に「社会問題を事業で解決する」という思いがあり、社会と共にある企業なのだと感じました。
- 同僚にコーチングについて伝え、コミュニケーションを振り返る機会にしたいです。



オリックス・レンテック東京技術センターのロボット技術を見学



研修中の様子

カシオ計算機株式会社

企業からのメッセージ カシオの根底に流れる「情熱」「社会への貢献」の理念を子どもたちに伝えていただくとともに、企業という異なる環境で、学校運営や保護者との関わりなどの気づきの機会になればと思います。

受け入れ実績 17年目 実施日 8/20(金) 参加教員数 15名(東京都足立区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要・製品紹介
- 2 人事制度
- 3 サステナビリティの取り組み
- 4 時計開発
- 5 お客様相談窓口の現場
- 6 営業戦略
- 7 教育現場におけるカシオ製品
- 8 振り返り

クローズアップ

お客様相談窓口の現場

- お客さま対応体制
- お客さま対応の心構え・対応方法のポイント
- 実際にあった事例の紹介

お客さまからいただく相談事例に対してどのような視点やフローで解決していくかを知り、子どもたちや保護者との接し方での共通点・相違点を発見し、学校運営の参考にいただければと思います。

参加教員の声

- 「創造貢献」の経営理念を大切に仕事に取り組んでいることが、素晴らしいモノづくりにつながっていると感じました。
- 製品開発のプロセスや開発者の思いを知り、製品を身近に感じることができました。
- お客さま対応で学んだように、保護者や子どもの視点で物事を考える大切さを、同僚や後輩に伝えたいと思います。



製品開発までの道のりを知る



研修終了後の記念撮影

川崎重工業株式会社

企業からのメッセージ 企業と社会との関わりや社会課題解決に取り組む事業内容、企業での人財育成などへの理解を深め、次世代を担う子どもたちの教育に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 2年目 実施日 8/16(月)～8/17(火) 参加教員数 8名(神戸市教育委員会)

主なプログラム

1日目(午後半日)

1 会社概要・事業説明

2日目

1 ロボット事業説明

2 CSRの取り組み

3 次世代エネルギーへの取り組み

4 人財育成の取り組み

■グループディスカッション

5 振り返り

クローズアップ

人財育成の取り組み

- 人財育成の考え方・制度
- 教員と社員とのグループディスカッション
- 学校と企業の人財育成の相違点

企業における人財育成の全体像を理解し、学校教育との比較や意見交換を通じて、今後どのように人財育成を行い教員として成長したいかを考え、新たな気付きを得る機会になればと思います。

参加教員の声

- 人財育成のグループディスカッションでは、企業と学校の相違点に目を向けながら「人を育てる」ことについて深く考えることができました。
- ロボット事業の話で、ロボットができることできないことを知り、今後子どもたちが伸ばしていくべき能力が見えました。
- 社会が求めている人材について、同僚と話し合いたいと思います。



事業内容を学ぶ



人財育成の講義

キッコーマン株式会社

企業からのメッセージ 「おいしい記憶をつくりたい。」というコーポレートメッセージを実現するために、社員一人ひとりが自分たちの業務を通じて活動していることを理解いただければと思います。

受け入れ実績 19年目 実施日 8/18(水) 参加教員数 10名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1 会社概要

2 ビジネスマナーの基礎

3 もの知りしょうゆ館オンライン見学

4 商品開発

■「うちのごはん」

■しょうゆ

■事前課題※発表・意見交換

5 人事制度・教育制度

6 食育

7 振り返り

クローズアップ

もの知りしょうゆ館オンライン見学

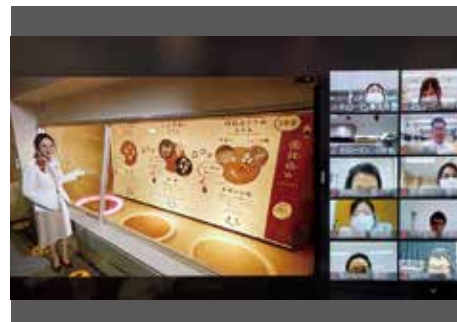
- オンラインによる工場見学(動画)
- もの知りしょうゆ館 館長によるしょうゆの歴史や製造工程の説明、質疑応答

今年度は、来館での工場見学ができないため、オンラインで実施しました。ガイドに案内されながら、実際に見学コースを歩いているような映像を用いることで、しょうゆの製造工程を分かりやすく学んでいただきました。

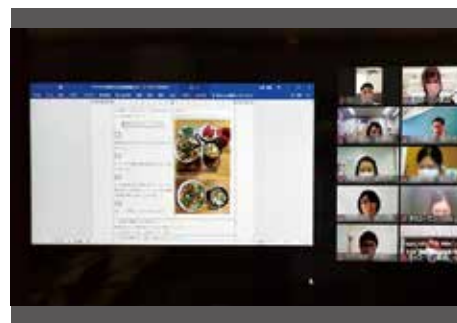
参加教員の声

- 工場見学を広報活動におけるお客さまとの接点と捉え、商品・食育・観光などの場として幅広く考えていることが強く印象に残りました。
- 時代のニーズに合わせて商品開発がされていることが分かり、企業の努力で現在の食生活が支えられていると思いました。
- 「食」から学べることが多くあり、全ての学年や教科で活かせると思いました。

※今年度は事前課題として、キッコーマン商品を使って「我が家の一品」を各ご家庭でつくって、レポートにまとめていただきました。



もの知りしょうゆ館オンライン見学



「我が家の一品」料理の発表

キューピー株式会社

企業からのメッセージ キューピーグループが創業以来大切にしていることへの理解を深めていただくとともに、子どもたちや社員が幸せで健やかな人生を生きるために私たちにどのような支援ができるのか、互いに学び合う時間にしたいと考えています。

受け入れ実績 1年目 実施日 8/18(水)～8/19(木) 参加教員数 7名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 サステナビリティの取り組み
- 3 食育の取り組み

2日目

- 1 人材育成
- 2 「ものづくり学校」
- 3 人の成長を支援する
- 4 振り返り

クローズアップ

食育の取り組み

- キューピーグループの食育活動
- 教育現場における食に関する課題
- 社員との意見交換

キューピーグループの食育活動への思いや考え方、活動事例へ理解を深めるとともに、教育現場の「食に関する課題」を教えていただくことで、課題解決に向けた取り組みのヒントを互いに得られる場にしたいと考えています。

参加教員の声

- 「よい商品はよい原料からしか生まれない」という原料への強いこだわりをもって、商品づくりをしていることが分かりました。
- 食育のグループワークで、子どもたちが健康に成長するには、どのように働き掛けたらよいかを考えることができました。
- 食育のウェブサイトやマヨテラスの見学について、同僚と共有し活用したいです。



「マヨテラス」のオンライン見学



動画視聴による工場見学

清水建設株式会社

企業からのメッセージ 「子どもたちに誇れるしごとを。」をコーポレートメッセージとする清水建設の様々な取り組みや技術に触れ、次世代を担う子どもたちへ建設業の魅力を伝えていただきたいと思います。

受け入れ実績 9年目 実施日 8/18(水)～8/19(木) 参加教員数 8名(東京都江戸川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 清水建設の歴史
- 2 働き方改革・ダイバーシティの取り組み
- 3 SDGsの取り組み
- 4 本社見学(ビデオ・オンライン)
- 5 技術研究所見学(オンライン)

2日目

- 1 シミズ・ドリーム
- 2 清水建設のプロジェクト
- 3 現場見学(VR映像)
- 4 同年代社員との意見交換
- 5 振り返り

クローズアップ

同年代社員との意見交換

～チームに分かれて以下のテーマで意見交換発表～

- 仕事に対するやりがい
- 同年代社員・教員としての悩み
- 今後挑戦したいと思っていること

異業種で働く同年代社員と教員の意見交換を通じて、「多様な働き方」などを理解し、それぞれの知見を広めていただければと思います。

参加教員の声

- 災害に強い建物、CO2削減やエネルギーをつくり出す建物の建設など、SDGsを実践的に行っていることが印象的でした。
- 同年代社員との意見交換で、仕事に対して誇りをもつことや夢をもつことの大切さに気付くことができました。
- 授業でシミズ・ドリームの話をし、新しいことに挑戦する素晴らしさを伝えます。



現場見学(VR映像)



意見交換の様子

一般社団法人情報サービス産業協会

企業からのメッセージ 日常生活の様々な場面で利用されている情報サービス・ソリューションや、その開発・運用を担うITエンジニアの仕事や働き方、またプログラミングの面白さを学び、教育現場や学校運営で活用していただければと思います。

受け入れ実績 9年目 実施日 8/18(水) 参加教員数 5名(東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

- 1 暮らしや社会における情報システムの役割
- 2 情報システム構築の仕事とITエンジニアの役割
- 3 働き方改革への取り組み
- 4 ITサービスの先進事例
- 5 情報化教育の取り組み
- 6 子ども向けプログラミング授業の体験
- 7 意見交換・振り返り

クローズアップ

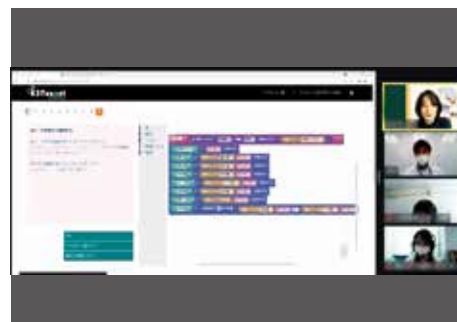
子ども向けプログラミング授業の体験

- 算数の単元学習に活かせるプログラミング教材の紹介と体験
- ViscuitやScratchを活用したプログラミング体験

子どもたちがITを身近に感じて楽しくプログラミングを学ぶ方法について、プログラミングに関するツールや指導者向けガイドブックを活用し、学校教育への参考にしていただければと思います。

参加教員の声

- ITが面白いものであること、活用していく中で多くのことが学べることを子どもたちに感じさせたいと思いました。
- 実際にプログラミングを体験し、授業への活用方法を考えることができました。
- 「働き方改革への取り組み」で知った時間短縮についての実践例「炎の早帰り」は興味深く、同僚に伝えたいと思いました。



子ども向けプログラミング授業の体験



情報化教育に関する意見交換

一般社団法人信託協会

企業からのメッセージ 講義やワークを通じて理解を深めた「信じて託す人の信頼に応え、その想いを形にする」という「信託の観念」を子どもたちに伝えていただくとともに、今後の金融経済教育にも活かしていただければと思います。

受け入れ実績 14年目 実施日 8/16(月)～8/17(火) 参加教員数 15名(東京都江戸川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 信託協会概要
- 2 信託の歴史と仕組み
- 3 信託の活用事例(動画視聴)
- 4 ライフステージと信託
- 5 ライフプランと信託
- 6 金融経済教育を巡る環境

2日目

- 1 信託の仕組み(動画視聴)
- 2 信託の模擬授業
- 3 グループワーク①
 - 授業プラン検討
- 4 三井住友トラスト・ホールディングス講義
- 5 グループワーク②
 - 授業プラン作成・発表
- 6 振り返り

クローズアップ

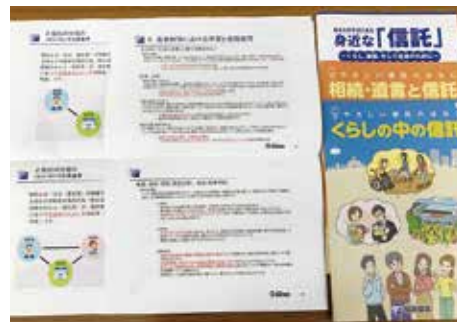
信託の仕組みや特徴、人々の暮らしや社会の中での活用方法

- 信託の仕組み、特色と機能、活用事例
- 授業への信託の展開(提案)と授業プランの作成・発表(グループワーク)
- 信託銀行社員による講義

最近利用されている信託商品の説明や信託銀行社員による講義を通じて、信託への理解を深め、当協会からの提案も参考に、「信託の観念」を教育へどう活用するか考える機会になればと思います。

参加教員の声

- 信託の仕組みや種類、ライフステージに合った活用例など、信託について幅広く知ることができました。
- 授業プランの作成で、小学校低学年にも「お金やモノ」の大切さ、使い道について考えさせることができると感じました。
- お金のもつ価値やライフプランとの関わりについて、子どもたちに伝えます。



信託の歴史や仕組み、特徴を学ぶ



授業プラン作成(グループワーク)の成果発表

住友重機械工業株式会社

企業からのメッセージ 企業研修を通じ、未来を託す子どもたちの教育者として、広い知見をもち教育力にあふれる指導者となるべく、教員の皆さま自身の成長につなげていただければと思います。

受け入れ実績 2年目 実施日 8/19(木) 参加教員数 9名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 造船部門バーチャル工場見学
- 3 製造所共管部門の業務
 - 総務/施設グループ
 - 人事グループ
 - 安全衛生グループ
 - 環境グループ
 - 情報システム部
- 4 製造所共管部門の業務(オンライン映像)
- 5 意見交換、振り返り

クローズアップ

製造業の共管部門業務と学校への水平展開

- 製造業における共管部門業務
- 共管部門業務についてグループ内で情報共有を行う
- 共管業務の中で、学校でも活用が望まれる良かった点を意見交換する

企業の共管業務について学び、自身の学校にも取り入れたいポイントを意見交換することで、日頃の悩みや改善したい内容を共有し、今後の学校教育の活性化を図っていただければと思います。

参加教員の声

- 共管部門業務の説明では、企業が大切にしている理念、安全管理、人材育成など、様々な視点での気づきがありました。
- 最先端の技術を活かした大きな仕事も、一人ひとりの仕事から生まれていて、人を育てることの重要性を実感しました。
- 安全管理や情報管理の体制やノウハウを学校全体で共有したいと思います。



造船部門バーチャル工場見学



研修風景

双日株式会社

企業からのメッセージ 国内外の事業例や研修制度などを紹介するとともに、人材育成や組織力向上について学校と企業に共通する課題などを共有できればと思います。

受け入れ実績 12年目 実施日 8/17(火) 参加教員数 10名(東京都東村山市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 物流の基礎知識
- 3 海外事業例
- 4 サステナビリティの取り組み
- 5 採用
- 6 人材育成
- 7 グローバルコミュニケーション研修
- 8 キャリア構築について意見交換

クローズアップ

キャリア構築について意見交換

- 研修プログラムから学校でのキャリア教育につながるテーマや学びを共有
- 学校教育で求められる人材育成と企業の人材育成との相違点
- キャリア構築全般について意見交換

企業における人材育成、双日の企業理念・行動指針やSDGsの取り組みから、学校で活用できる内容を共有し、次世代を担う子どもたちのキャリア教育につながるよう意見交換を行いました。

参加教員の声

- 海外事業の紹介で、様々な分野の人と協力して仕事を進めていく話を聞き、チームワークの大切さを改めて実感しました。
- 世界で活躍する日本人を育てられるよう、キャリア教育に力を入れていきたいです。
- 社会情勢を踏まえた企業努力について子どもたちに話し、時代を読む力や様々なことに関心をもつことが大切だと伝えます。



企業で求められる人材について学ぶ



グローバルコミュニケーション研修

SOMPOホールディングス株式会社

企業からのメッセージ 「安心・安全・健康のテーマパーク」の実現に向けた幅広い事業内容、人材育成、サステナビリティへの取り組み、それらに込めた思いなどを知り、今後の学校生活に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 15年目 実施日 8/16(月) 参加教員数 20名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社・グループ概要
- 2 損害保険の基礎知識
- 3 サステナビリティへの取り組み
 - 子ども向け防災プログラムの体験
- 4 人材育成
- 5 保険金サービス部門の体感ワークショップ
- 6 振り返り

クローズアップ

サステナビリティへの取り組みと防災プログラム体験

- SOMPOグループのサステナビリティへの取り組み
- 子ども向け防災プログラムの体験

SOMPOグループの多岐に渡るサステナビリティへの取り組みの中でも、災害時に役立つ防災プログラムを紹介し、実際に新聞紙で紙皿を作っていました。今後、オンラインで教員から子どもたちへも実施可能な内容としました。

参加教員の声

- 損害保険だけでなく「安心・安全・健康のテーマパーク」の実現に向け、様々な活動をされていることに驚きました。
- 小学校1年生が着ける「黄色いワッペン」の提供を知り、学校はいろいろな方に支えられていると、改めて感じました。
- 防災訓練で、災害時に役立つ紙食器作りを子どもたちに体験させたいです。



子ども向け防災プログラムを体験



研修風景

TIS株式会社 (TISインテックグループ)

企業からのメッセージ Sler(システムインテグレーター)のタスク管理方法や課題分析方法、プロジェクトの運営管理手法やノウハウ、アイデア発想方法など、研修を通じて体験したことを教育現場で役立てていただければと思います。

受け入れ実績 11年目 実施日 8/18(水)~8/19(木) 参加教員数 16名(東京都日野市教育委員会)

主なプログラム

- 1日目
 - 1 IT業界概要・会社概要
 - 2 ソリューション開発
 - 3 民間企業の制度
- 2日目
 - 1 プロジェクトマネジメント
 - 2 アイデア発散ワークショップ
 - 3 振り返り

クローズアップ

プロジェクトマネジメント

- プロジェクトマネジメントとは
- ステークホルダーマネジメント
- ワークショップ

毎年、業務ノウハウの講義が好評でしたので、今年ももう一歩踏み込み、期間のある仕事をプロジェクトとして管理する方法論を、教育現場で実際に使える知識として身に付けていただきたいと思います。

参加教員の声

- DXの取り組みを聞き、教育現場でもアナログを大切にしながらデジタル化についても積極的であるべきだと感じました。
- ワークショップを通して、物事を多面的・多角的に捉えたり、アイデアを出したりすることの楽しさを味わいました。
- プロジェクトマネジメントを活用して仕事を進める方法を、同僚に伝えます。



プロジェクトマネジメントについて学ぶ



意見交換

株式会社TBSホールディングス

企業からのメッセージ オンライン開催でしたが、現場で働く社員の話を聞いていただくことで、放送の仕事の意味や目的、そこで働く者の思いを理解していただきたいです。また、画面越しでも、実際の活動を疑似体験していただくことで、チームワークや伝えることの楽しさと大切さを感じていただき、教育現場で役立てていただければと思います。

受け入れ実績 13年目 実施日 8/19(木) 参加教員数 18名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 放送局の業務(全体)
- 2 放送局の業務(報道)
- 3 放送局の社会貢献(CSR)
- 4 放送局の業務(技術)
- 5 放送局の業務(番組制作)
- 6 放送局のビジネス
- 7 放送局の人材育成
- 8 振り返り

クローズアップ

オンラインでの出前授業体験

- 編集長体験:実際に放送された6本のニュースの中から3本を選び、放送する順番に並べ、なぜその3本を選びその順番にしたかの理由を考える。

ニュースとは膨大な情報の中から、実際に記者が現場に行き取材した事実を集めた上で、放送すべきか否かを判断して放送されるものです。メディアリテラシーの重要性と必要性を理解することで、子どもの教育に活かしていただければと思います。

参加教員の声

- ひとつの番組をつくり上げるために多くの人が協力し、話し合い、連携を取りながら仕事をしていることが印象に残りました。
- 出前授業を体験し、ニュースを組み立てることの面白さ、様々な視点でニュースを取捨選択することの重要性を学びました。
- 情報を自分で判断するメディアリテラシーの大切さを子どもたちに伝えます。



出前授業風景



オンライン越しにクロマキーで天気予報コーナーを疑似体験

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

企業からのメッセージ 子どもたちには、是非、身の回りにあるデジタル技術に興味をもっていただきたいと思います。また、プログラミング教育は、学問というより楽しいツールとして親しんでいただければと思います。

受け入れ実績 2年目 実施日 8/23(月) 参加教員数 29名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 協会概要
- 2 未来社会について考える
 - 個人ワーク
 - グループディスカッション
- 3 プログラミング体験ゲーム「アルゴロジック」
- 4 「おもしろ電気教室」体験
 - 簡易モータ作成
- 5 STEAM※体験施設「Mulabo!」紹介

クローズアップ

「おもしろ電気教室」

- 「おもしろ電気教室」体験

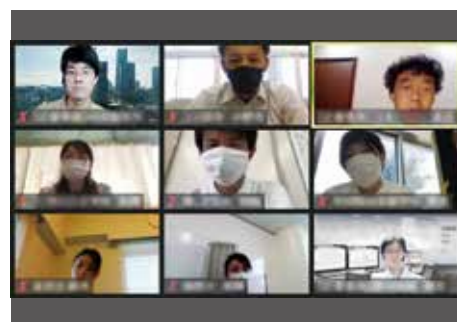
誰もが学生時代に一度は実験したことがあるであろう「手作りモータ」。今回は材料を受講者へ送付し、実際に身近な工具、手ごろな材料を用いて、電磁石モータが回転する実験を行いました。オンライン形式という限られた条件の中でしたが、大変熱心に研修に取り組んでいただきました。

参加教員の声

- 「おもしろ電気教室」では、身近な工具や材料などを使って実験できることを知り、授業に取り入れられると思いました。
- 未来社会に向けて、今の子どもたちに必要な力は何かを、企業の方を交え議論することができ、とても有意義でした。
- 子どもたちに、プログラミングの体験を通して、面白さや達成感を伝えたいです。



未来社会、教育について考える



「おもしろ電気教室」で簡易モータを作成・発表

※Science, Technology, Engineering, Liberal Arts, Mathematicsの略

東京海上日動火災保険株式会社

企業からのメッセージ 業務内容や教育界とのつながりについて多方面から知ること、損害保険業への理解を深めていただくとともに、企業を支える主体性ある人材の育成方法などを学び、今後の教育活動に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 11年目 実施日 8/20(金) 参加教員数 38名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 東京海上ビジネスサポート社(障がい者雇用促進のための特例子会社)オンライン見学
- 3 DXの取り組み
- 4 人材育成、コミュニケーション演習
- 5 サステナビリティ・SDGs活動

クローズアップ

人材育成

- 人材育成施策概要
- 人材育成に取り組む意義
- グループワーク、意見交換

教員同士の交流や思いの共有を通じて、人材育成の取り組みについて理解を深め、新たな気づきを得る機会を提供することで、人材育成のやりがいの共感やモチベーションアップにつなげていただきたいと思います。

参加教員の声

- 経験学習モデルや成功循環モデルなど、人材育成の施策で学んだことを今後の指導に活かしたいと思いました。
- 障がいのある方の雇用で、一人ひとりに合った仕事内容、無理なく働ける環境を用意していることが素晴らしいと感じました。
- 学校に潜むリスクについて学んだことを同僚に伝え、事故を未然に防ぎたいです。



会社概要について学ぶ



人材育成の取り組みを学ぶ

東京ガス株式会社

企業からのメッセージ 学校運営や授業指導に役立てていただけるよう、持続可能な社会実現と会社運営のための様々な取り組み、ステークホルダーとの関係構築の在り方、暮らしを支えるエネルギーの実情やこれからの課題などをお伝えします。

受け入れ実績 30年目 実施日 ①8/17(火)、②8/19(木)、③8/23(月) 参加教員数 163名(①東京都練馬区教育委員会、東京都北区、②東京都足立区教育委員会、③横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 SDGsの取り組み
- 3 CS
- 4 エネルギー教育
 - 教材の紹介
 - グループワーク
 - 意見交換

クローズアップ

CS向上の取り組み

- お客さまの満足と不満足を聞く
- お客さまの声の分類・分析
- お客さまに合わせて仕事を変える

多様化し続けるお客さまの期待や要望に応えるためには、個別の声を聞くと同時に全体も俯瞰し、根拠をもって業務を変えていく必要があります。学校を取り巻く環境も変化中、役立てていただければと思います。

参加教員の声

- 安定したガス供給を行うという強い使命感、SDGsへの取り組み、お客さまの声を大切にしている真摯な姿に感銘を受けました。
- 「声なき声」に耳を傾けるサイレントマジョリティーの考え方を学校で活かします。
- 次世代を担う子どもたちにエネルギーの課題について伝え、自分事として考えられるようにすることが大事だと思いました。



SDGsの取り組みを学ぶ



研修風景

※1日の研修を3回行いました。

株式会社東京証券取引所(株式会社日本取引所グループ)

企業からのメッセージ 学んだことを今後の授業などで教員自身の言葉で子どもたちへ伝えていただければと思います。これからの社会を生きていく子どもたちに、自分で情報収集し、判断する力を身に付けてほしいと思います。

受け入れ実績 19年目 **実施日** ①8/19(木)、②8/20(金) **参加教員数** 50名(①②東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

- 1 株式市場の仕組み
- 2 東証の金融経済教育の取り組みの紹介
- 3 東証の施設オンライン見学
- 4 資産形成の基礎
- 5 振り返り

※1日の研修を2回行いました。

クローズアップ

金融経済教育の取り組み

- 学校の授業に役立てることができる教材・講師派遣・教員向けセミナー・見学受け入れなどを紹介
- 実際の授業実践内容を紹介

株式会社の役割や目的、社会の動きと株式会社との関わりなど、株式市場を入門的に学べる教材を紹介し、授業に活用していただくとともに、教員自身の知識の向上に役立てていただければと思います。

参加教員の声

- 株式は経済を支える重要な役割をもっていること、株式を通して会社の応援ができることが分かりました。
- 「投資＝危険なこと」というイメージが変わりました。何事も「知ること」「自ら学ぶこと」が大事だと思いました。
- 金融経済教育は、子どもたちが生きていく上で必要なことだと同僚に伝えます。



金融経済教育の取り組みを知る



オンラインで施設見学

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社

企業からのメッセージ NEXCO中日本グループが行う高速道路の安全性向上や技術開発などの事業への取り組みの内容を、今後の学校運営や将来を担う子どもたちの教育現場へ活かしていただけると大変うれしく思います。

受け入れ実績 3年目 **実施日** 8/23(月) **参加教員数** 4名(東京都江戸川区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 技術研修所、施設紹介
- 3 技術開発の取り組み
- 4 安全性向上への取り組み
- 5 グループディスカッション
- 6 振り返り

クローズアップ

グループディスカッション

- テーマ: あなたがもしNEXCO中日本グループの社員になったら
 - どのような仕事をしたいか
 - どのように社会に貢献できるか
 - チャレンジ、アイデアの実現

自分の考えを伝えたりメンバーとの議論を通じて、コミュニケーション力・チームワーク力により結果をまとめ、与えられた課題に対しての解決能力とともにプレゼンテーション能力も養います。

参加教員の声

- 高速道路は造るだけでなく、その後の点検や管理が大切であること、そのため常に技術開発を行っていることが分かりました。
- AIやドローンといった新しいものも取り入れるなど、高速道路をより良いものにしていくための努力が伝わってきました。
- 高速道路は多くの人の支えにより安全に走行できると、子どもたちに伝えます。



技術開発の取り組みについて学ぶ



グループディスカッション

日本アムウェイ合同会社

企業からのメッセージ 創立者の理念などを軸にした企業活動、こだわりをもって取り組む多様でインクルーシブな組織づくりとブランド・マーケティング、傾聴を重視するお客さま対応などを理解し、教育現場でも活かしていただければと思います。

受け入れ実績 8年目 実施日 8/17(火)～8/19(木) 参加教員数 12名(東京都荒川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 リーダーシップ
 - グループディスカッション
- 3 働き方改革、人事制度
- 4 VRオフィスツアー

2日目

- 1 子どもと栄養
- 2 各製品ブランドと製品開発
- 3 アムウェイ・プラザの運営

3日目

- 1 社会貢献活動(東日本復興支援 Remember HOPEプロジェクト)
- 2 お客さま対応
- 3 コーポレートルールとコンプライアンス
- 4 地域社会やステークホルダーとの連携
- 5 振り返り

クローズアップ

社会が求める人材とは

- 人は大人になっても変わるか
- 不確実・不透明な社会の中、自分で考え解決する思考力と行動力をいかに養うか
- グローバルにリーダーシップを発揮できる人材の育成とは

企業も学校も人を育てる器との考えのもと、世界の中の日本の実態を解説した上で、不確実で不透明な時代の中でグローバルに生きる日本の人材育成はどうあるべきかを共に考えるという視点でプログラムを構成しました。

参加教員の声

- お客さまを大切にする企業の思いは、学校現場における、子ども、保護者、地域に対する思いにつながると感じました。
- 子どもたちが、より広い視野をもてるよう「グローバル」という考え方を伝えて、世界に目を向けさせていきたいです。
- バーチャルオフィスツアーで社内の様子が分かり、企業のイメージがつかめました。



研修中の様子



グループディスカッション後の発表

日本製鉄株式会社

活用事例 P.21

企業からのメッセージ 鉄づくりで広く社会を支える鉄鋼メーカーが、日々どのような思いでモノづくりを行っているか、また、鉄という素材の魅力や環境への取り組み、人材育成活動などをご理解いただき、教育現場で活用いただければと思います。

受け入れ実績 24年目 実施日 8/18(水) 参加教員数 52名(木更津市教育委員会、神戸市教育委員会、東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 人材育成
- 3 安全への取り組み
- 4 環境への取り組み
- 5 意見交換

クローズアップ

オンライン工場見学

- 工場概要説明
- オンライン工場見学用動画視聴
- 鉄のライフサイクルアセスメント動画視聴

工場見学の代わりに、見学動画を用いてモノづくりの現場を感じていただき、鉄の魅力を理解し、鉄という素材に興味をもってもらい、教育現場でモノづくりや鉄の魅力を伝えていただければと思います。

参加教員の声

- 工場見学の動画では、規模・迫力に圧倒されました。鉄がなければ現在の生活が成り立たないことを改めて実感しました。
- 「ご安全に！」というあいさつが印象的でした。安全についての取り組みは、学校でも活かせることがたくさんありました。
- 鉄は繰り返し使え、人の暮らしを支える大切な資源だと子どもたちに伝えます。



君津地区でのオンライン研修の様子(出典:日本製鉄株式会社)



製鋼所地区でのオンライン研修の様子(出典:日本製鉄株式会社)

※①東日本製鉄所君津地区、②同鹿島地区、③瀬戸内製鉄所広畑地区および関西製鉄所尼崎・製鋼所地区で開催。開催場所により若干プログラムが異なります。

一般社団法人日本損害保険協会

企業からのメッセージ 社会の不確実性が高まる時代の中で、教員の皆さまにリスクマネジメントや損害保険の必要性への理解を深めていただき、日本損害保険協会の教材「明るい未来へTRY!」を活用し、次世代を担う高校生に展開していただければと思います。

受け入れ実績 9年目 実施日 8/23(月) 参加教員数 36名(東京都教育委員会)

主なプログラム

- 1 損害保険業界の概要
- 2 金融経済教育・金融リテラシーの推進
- 3 身の回りのリスクと損害保険
 - 損害保険の仕組み・基礎、くるまの保険
 - すまいの保険、からだの保険
- 4 自転車に関わるリスクとその責任
- 5 安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」
- 6 ICT教育への対応
- 7 振り返り

クローズアップ

金融経済教育・金融リテラシーの推進

- 教材「明るい未来へTRY!」を活用したアクティブラーニング型授業の推進

日本損害保険協会では「損害保険リテラシー」の向上を目的として、高校の公民・家庭の授業で推進いただけるよう教材・動画などの充実を図りました。リスクが高まる時代に、高校での損害保険リテラシー授業に取り入れていただければと思います。

参加教員の声

- 少子高齢化や成年年齢の引き下げなどの時代背景を知り、損害保険教育の必要性についてより理解が深まりました。
- 教材「明るい未来へTRY!」は、クイズ形式で保険について学ぶことができ、実際の授業で使用するイメージが湧きました。
- 災害や事故など、身の回りのリスクとその備えについて、子どもたちに話します。



損害保険の仕組み・基礎を学ぶ



研修風景

野村ホールディングス株式会社

企業からのメッセージ 金融や経済の知識は、一人ひとりが自立して安心かつ豊かな生活を送るために必要不可欠なものです。金融・経済の面白さやサステナビリティの重要性を次世代を担う子どもたちに伝えていただければと思います。

受け入れ実績 21年目 実施日 8/19(木)～8/20(金) 参加教員数 26名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 経済・金融・投資の基礎知識
- 2 子どもたちにイノベーション思考の背中を押すためのヒント
- 3 金融・経済教育の取り組み
- 4 出張授業プログラム体験
 - 「Nomuraビジネス・チャレンジ」

2日目

- 1 ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み
- 2 子どもたちの将来を取り巻く「資産形成」の必要性
- 3 グローバル化する世界 日本の輝く未来と今求められる人材
- 4 振り返り

クローズアップ

出張授業プログラム体験「Nomuraビジネス・チャレンジ」

- 中・高生向け出張授業プログラムの体験
- グループごとに決められたテーマについて、課題や問題点を話し合う
- 課題に対する解決方法を考え、発表

授業プログラムの体験を通じて、教員同士が交流を深める場になればと思い企画しました。各学校における問題意識を共有し、一緒に解決へのアイデアを探ることで得られたヒントを、教育現場で役立てていただければと思います。

参加教員の声

- 人生を支える3つの領域(体・心・お金の健康)の話から、積極的に金融・経済の知識を身に付ける必要があると感じました。
- 企業が一丸となって環境問題やSDGs、グローバル化などについて前向きに考え行動していることに感銘を受けました。
- 多様性を認め合い、一人ひとりの個性を活かすことは、教室でも大切にしたいです。



金融・経済教育の取り組みについて学ぶ



研修中の様子

古河電気工業株式会社

企業からのメッセージ ご安全に!ご健康に!企業のESG経営、環境・安全への取り組み、事業継続マネジメント、人材育成について知り、教育現場でどのように活かせるかを、講義・演習などを通じて共に考えていきます。

受け入れ実績 6年目 実施日 8/18(水) 参加教員数 14名(東京都江戸川区教育委員会)

主なプログラム

- 1 グループ概要
- 2 グループの安全への取り組み
- 3 グループの環境への取り組み
- 4 ESG経営
- 5 企業内社員教育概要・体験
- 6 事業継続マネジメント
- 7 振り返り

クローズアップ

企業内社員教育概要・体験

- 古河電工の教育体系
- 企業研修体験(コミュニケーション研修)
- ロジカルシンキング

教育体系を紹介するとともに、実際の企業研修を体験していただきました。特に、ロジカルシンキングに関するグループワークを実施することで、学校教育の参考にしていただければと思います。

参加教員の声

- 人材育成について、多様な視点や段階を設けて、確実に社員を育てていこうという姿勢が印象に残りました。
- 企業研修で学んだロジカルシンキングの手法が興味深く、活用したいと思いました。
- 企業が、日本だけでなく世界のためにモノづくりをしたり環境を守る活動をしている姿を子どもたちに伝えます。



ESG経営について学ぶ



コミュニケーション研修を体験

みずほ証券株式会社

企業からのメッセージ みずほ証券が提供している金融経済教育プログラムなどを通じて、学校での同教育の必要性や、企業の働き方・社員のキャリア形成などへの理解を深め、今後の学校運営の参考にしていただければと思います。

受け入れ実績 8年目 実施日 ①8/17(火)~8/18(水)、②8/23(月) 参加教員数 56名(①神奈川県教育委員会、②東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 子どもたちが、これから「生きる社会」はどう変化する?必要な教育とは?
- 2 高校生向け教材体験①
 - お金との付き合い方A (キャリア教育×金融教育)
 - お金との付き合い方B (消費者教育×金融教育)
 - 投資とリスク
- 3 社会人向け資産形成講座 ~金融の基礎~

2日目

- 1 高校生向け教材体験②
 - 企業、投資家双方の立場を体験 (起業家教育×金融教育)
- 2 社会における金融とは
- 3 証券会社の機能と役割
- 4 社員との意見交換
 - 民間企業の事例 ~働き方、キャリア形成、環境変化への対応など~

※2日間の研修を主体に1日の研修も1回行いました。

クローズアップ

学校現場における金融教育

- 人生100年時代、子どもたちにとって必要な金融教育とは?
- 体験型学習「お菓子の株式会社」(企業、投資家双方の立場を体験)
- 社員との意見交換

金融や経済を身近に感じていただくための講義や体験型学習、意見交換を通じて教育現場での金融経済教育の必要性やその普及に向けて相互理解を深めることを目的としています。

参加教員の声

- 人生100年時代に向けて、子どもたちがお金のことで困らないよう、金融・消費者・主権者教育を行っていききたいと思います。
- 金融教育は内容が難しいと避けてしまいがちでしたが、企業など専門家の知識やアイデアを借りることも大切だと感じました。
- 人材育成や社会貢献活動など、学校とは異なる場での取り組みが参考になりました。



金融を身近に感じる講義



体験型学習「お菓子の株式会社」

三菱地所株式会社

活用事例 P.25

企業からのメッセージ 三菱地所では「人を、想う力。街を、想う力。」をブランドスローガンに、街づくりを行っています。研修で学んだことを思い出しながら、ぜひ丸の内などを訪れていただきたいと思います。

受け入れ実績 22年目 実施日 8/16(月) 参加教員数 25名(東京都教育委員会)

主なプログラム

- 1 グループ概要
- 2 ブランドについて
- 3 人事制度
- 4 危機管理(防災対策)
- 5 丸の内における「街づくり」「エリアマネジメント」
- 6 サステナビリティ・環境問題への取り組み
- 7 意見交換・発表

クローズアップ

丸の内における街づくり

- 丸の内の歴史や三菱地所のプロジェクト概要
- 丸の内エリアでの様々な取り組み(ハード、ソフトともに)
- これからの丸の内

普段何気なく歩いている街並みにも、計画者の考えが様々なところに反映されています。知識を得ていただくとともに、街づくりには多くの人が関わっていることも実感いただければと思います。

参加教員の声

- 時代に対応して進化する「街づくり」により、丸の内エリアがこれだけ活気のある「街」になったことを知りました。
- ブランドは、「ステークホルダーからの期待」と「企業からの約束」の長い時間の積み重ねで築かれていることが分かりました。
- 人が主役の街づくりを、子どもたちが主役の学校づくりに活かしていきたいです。



ブランドについて学ぶ



意見交換

三菱重工業株式会社

企業からのメッセージ 広報・宣伝活動、人材育成、企業スポーツ推進、CSR(SDGsや次世代育成)の取り組みなど、多様な企業活動を見ていただき、社員との意見交換で感じたことを、今後の学校運営に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 21年目 実施日 8/20(金) 参加教員数 8名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 サステナビリティ(SDGs、マテリアリティ、社会貢献活動)
- 3 ブランディング活動
- 4 人材育成(人材開発)の取り組み
- 5 企業スポーツの取り組み
- 6 振り返り

クローズアップ

企業スポーツの取り組み

- 企業スポーツ推進の取り組み
- 社員との意見交換

学校と企業の共通の課題である「人材育成」をテーマに意見交換を行い、学級や部活動での子どもたちの育成・指導(マネジメント・モチベーションなど)について、学校運営に活かせるヒントを得ていただければと思います。

参加教員の声

- 企業スポーツの講義で学んだ「人材育成」は、部活動の指導だけでなく、学級や学年運営にも活かせると思いました。
- 世界の環境や社会問題の解決に向け、多様な活動をされていることに驚きました。
- SDGsについて子どもたちに伝え、「個人で」「少人数で」「集団として」できることを一緒に考え、活動につなげたいです。



企業スポーツの取り組み



社員との意見交換

三菱商事株式会社

企業からのメッセージ 三菱商事のこれまでの事業の変遷と現在の姿、またそれを支える人材育成に係る取り組みなどを紹介させていただきました。教育現場において参考になればと思います。

受け入れ実績 20年目 **実施日** 8/19(木)～8/20(金) **参加教員数** 17名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 人材開発
- 3 コンプライアンス
- 4 危機管理広報
- 5 サステナビリティ・社会貢献活動

2日目

- 1 三菱の挑戦と発展
- 2 都市開発事業
- 3 風力発電事業
- 4 コーポレート担当役員との意見交換

クローズアップ

コーポレート担当役員との意見交換

- 役員との意見交換
- 教員との議論

今年度はオンライン開催のため、講義の大半が座学になりましたが、役員との意見交換では、たくさんの教員に発言いただき、有意義な意見交換の時間をもつことができたと考えています。

参加教員の声

- 創業から150年の歩みの中で、時代の変化に機敏に反応し、「三綱領」を貫き、発展してきたことを知りました。
- 役員からの「学校で、コミュニケーション力、人の立場に立って考える力を身に付けてほしい」という言葉を同僚に伝えます。
- 「会社の資産は人である」という考えは私たちが目指している教育そのものでした。



三菱グループの経営理念を学ぶ



研修中の様子

三菱マテリアル株式会社

活用事例 P.23

企業からのメッセージ 三菱マテリアルグループは企業理念「人と社会と地球のために」のもと、事業活動を通じて社会課題を解決し、社会的価値と経済的価値の両立を図ることを目指しています。次世代を担う子どもたちへ研修で感じたことを伝えていただきたいと思います。

受け入れ実績 22年目 **実施日** 8/18(水)～8/19(木) **参加教員数** 10名(東京都港区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 ESG・SDGs、気候変動
- 2 CSRの取り組み
- 3 三菱マテリアルグループ事業概要

2日目

- 1 研究開発
- 2 人事制度、人材育成
- 3 モノづくり人材育成
- 4 DX
- 5 意見交換

クローズアップ

グループディスカッション

- 講義を振り返りながら、2つのテーマについて意見交換
- テーマ1：上司や同僚に伝えたいこと
テーマ2：子どもたちに伝えたいこと

企業の印象や学校との相違点、学校で活かそうと感じた企業の取り組み、企業に求めることなどについて、率直な意見交換を行いました。学校教育への参考にしていただくとともに、学校運営にも活かしていただきたいと思います。

参加教員の声

- ESG・SDGsの推進や地域との共生など、様々な活動によって社会貢献を行っていることを知りました。
- 言いにくいことこそすぐに言える「バッドニュースファースト」の環境づくりを同僚に伝え、実践していきたいです。
- 地球や世界の人たちを守るために自分に何ができるか、子どもたちと考えます。



循環型ビジネスモデル



研修中の様子

メタウォーター株式会社

活用事例 P.22

企業からのメッセージ ライフラインである上下水道やメタウォーターの社会貢献の取り組みを「水循環」をキーに学んでいただき、学校教育や運営に役立てていただくとともに、未来を支える子どもたちに上下水道や水循環の大切さを伝えていただければと思います。

受け入れ実績 3年目 実施日 8/23(月) 参加教員数 23名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1 浄水場の仕組み
- 2 下水道の仕組み
- 3 水循環と上下水道の関わり
- 4 模擬出前授業
 - ろ過実験
 - 実験ツール制作
- 5 水循環を伝えるオリジナル授業づくり
- 6 振り返り

クローズアップ

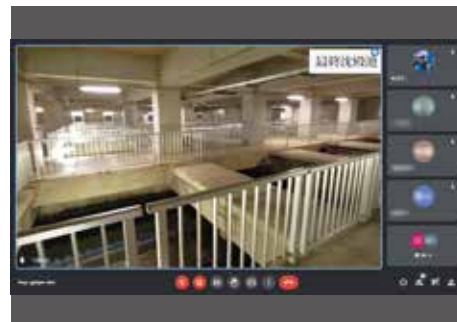
浄水場の仕組み、下水道の仕組み

- オンライン施設見学(映像と説明との組み合わせ)
- オンライン質疑応答

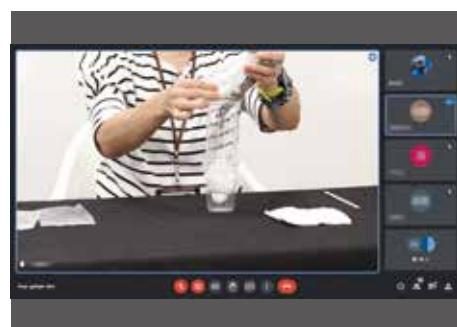
人々の生活に欠かせない上下水道インフラの代表である、浄水場や下水処理場の役割や仕組みを「水循環」の一部として理解いただくために、施設見学や説明、質疑応答をオンラインでどこまで実現できるのか、試行錯誤しました。

参加教員の声

- 浄水場など実際の施設をオンライン見学し、生活と水の関わりがよく分かりました。
- 水循環の模擬出前授業は、子どもたちの目線で学ぶことができました。実験をすることで、改めて水の大切さに気付きました。
- どのように地球上の水が循環しているのかを子どもたちに伝え、限りある水資源を守るため自分たちにできることを考えます。



下水道の仕組みを学ぶ(町田市成瀬クリーンセンター)



水循環に関する模擬出前授業を体験

森永乳業株式会社

企業からのメッセージ 森永乳業では、「かがやく“笑顔”のために」というコーポレートスローガンを掲げ、笑顔あふれる豊かな社会の実現に向け、ESG重視経営を推進しています。サステナブルな社会を目指し企業活動に取り組んでいます。

受け入れ実績 3年目 実施日 8/19(木)～8/20(金)、8/23(月) 参加教員数 39名(東京都中野区教育委員会、東京都港区教育委員会)

主なプログラム

- 1 日目
 - 1 会社概要
 - 2 環境への取り組み
 - 3 人材育成と組織マネジメント
 - 4 ワーク①サステナブル活動
 - 5 戦略的広報IR活動

2日目

- 1 IT技術の導入
- 2 商品の製造・開発
- 3 ワーク②市場視察
- 4 お客さま満足度向上
- 5 同世代社員との意見交換

3日目

- 1 森永乳業の研究
 - 腸内フローラ・子どもの栄養
- 2 酪農の現状と企業
- 3 バター作り体験
- 4 次世代成長支援活動
- 5 ワーク③学校と企業が連携した学び
- 6 振り返り

クローズアップ

サステナブルに資する、学校と企業のコラボ企画を考えてみよう!

- 身近なサステナビリティを考える
- 食品企業のサステナブルな取り組みを知る
- 企業のリソースとスピリットを活かし、サステナブルな未来をつくる授業を考える

3日間のまとめとして社会の持続可能性を高めるため企業のノウハウを活かし、学校とのコラボレーション企画を考えることを体験いただきました。サステナブルな未来をつくる子どもたちへの授業づくりの参考にいただければと思います。

参加教員の声

- 市場視察で店頭に並んでいる商品を実際に確認したことで、企業のサステナブルな取り組みを身近に感じることができました。
- グループワークで考えた企業とのコラボを企画する授業は、子どもたちが専門的な知識を得られるなど、魅力があると思いました。
- 栄養バランスや食事の大切さを、保護者会や学校公開の際に伝えていきます。



ワーク①身近なサステナビリティを考える



研究所社員との意見交換

株式会社りそなホールディングス

企業からのメッセージ 企業理念や企業としての考え方、銀行の社会的役割への理解を深めていただくとともに、地域社会との共生・協働やSDGsなどの取り組みを学校運営に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 16年目 実施日 8/20(金) 参加教員数 13名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 総合学習のヒント「REENAL」※プロジェクト
- 2 銀行業務の基礎知識
- 3 りそなグループの概要とブランド戦略
- 4 企業にとってのSDGs、消費者にとってのSDGs
- 5 りそなの子ども向け金融経済教育
- 6 りそなグループ社員との意見交換

※REENAL: りそな (RESONA) と地域 (REGIONAL) を組み合わせた造語です。

クローズアップ

りそなグループ社員との意見交換

- 職場の課題(組織内のコミュニケーションや人材育成、困りごとなど)を洗い出し、本研修を参考に解決方法を検討
- グループワークで課題や解決方法の共有
- りそなグループ社員への質問と意見交換

社会を取り巻く環境は日々変化しています。研修内容を職場での課題の解決や教育指導案に活用することで、教育現場へ新たな考え方を提供する機会になればと思います。

参加教員の声

- 銀行の常識を打ち破る改革の数々に衝撃を受けました。できないと諦めるのではなく、できることに取り組んでいます。
- SDGsについて学び、「環境と社会に支えられている経済」から「支える経済」へ、価値観が変化していることを知りました。
- 同僚と「今すべきこと」を洗い出し、効率化やスキルアップを図りたいと思います。



企業にとってのSDGs、消費者にとってのSDGsを学ぶ



りそなの子ども向け金融経済教育を体験

企業

旭化成株式会社

朝日生命保険相互会社

株式会社伊予銀行

株式会社INPEX

SMBC日興証券株式会社

ENEOS株式会社

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

大阪ガス株式会社

株式会社大林組

オムロン株式会社

オリックス株式会社

カシオ計算機株式会社

川崎重工業株式会社

キッコーマン株式会社

キューピー株式会社

清水建設株式会社

一般社団法人情報サービス産業協会

一般社団法人信託協会

住友重機械工業株式会社

双日株式会社

SOMPOホールディングス株式会社

TIS株式会社

株式会社TBSホールディングス

一般社団法人電子情報技術産業協会

東京海上日動火災保険株式会社

東京ガス株式会社

株式会社東京証券取引所

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社

日本アムウェイ合同会社

日本製鉄株式会社

一般社団法人日本損害保険協会

野村ホールディングス株式会社

古河電気工業株式会社

みずほ証券株式会社

三菱地所株式会社

三菱重工業株式会社

三菱商事株式会社

三菱マテリアル株式会社

メタウォーター株式会社

森永乳業株式会社

株式会社りそなホールディングス

参加教育委員会

神奈川県教育委員会

横浜市教育委員会

千葉県木更津市教育委員会

東京都教育委員会

東京都足立区教育委員会

東京都荒川区教育委員会

東京都江戸川区教育委員会

東京都葛飾区教育委員会

東京都中野区教育委員会

東京都練馬区教育委員会

東京都東村山市教育委員会

東京都日野市教育委員会

東京都文京区教育委員会

東京都町田市教育委員会

東京都港区教育委員会

大阪府高槻市教育委員会

京都市教育委員会

神戸市教育委員会

愛媛県教育委員会

【編集後記】

教員の民間企業研修は1983年にスタートし、2021年度で38回目を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で昨年度は残念ながら中止となりましたが、今年度は従来の対面形式にかえて、初のオンライン形式にて開催することができました。

コロナ禍における本研修の運営にあたりまして、充実したオンライン研修となるようプログラム作成から実施に至るまで、例年とは異なるご調整やご準備など多岐にわたりご尽力いただきました企業の研修担当者の皆さま、企業と教員の懸け橋となるべく様々な場面でお力添えいただきました教育委員会の皆さま、本研修に意欲的にご参加いただいた教員の皆さまへ、改めて心より厚く御礼申し上げます。

本レポートの3ページ目に、「企業から教員へ」「教員から企業へ」のメッセージをアンケートより抜粋して掲載しています。本研修が企業、教員の皆さま双方にとって実り多きものであったということの一端を、本レポートでお伝えできれば幸いです。

経済広報センターは、教員の皆さまに企業での研修体験を、様々な形で子どもたちに伝えていただくとともに、学校運営の改善などにも活用していただけるよう、より良い研修運営を目指して今後も取り組んでまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

担当者一同

教員の民間企業研修レポート2021

発行 ——— 2022年1月

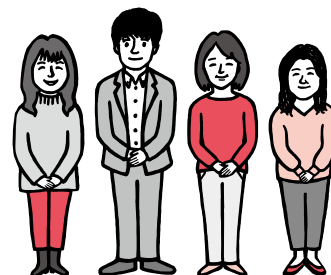
一般財団法人 経済広報センター 国内広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

Tel.03-6741-0021 Fax.03-6741-0022 URL.<http://www.kkc.or.jp/>

担当 ——— 大藤 由貴／村中 隼斗／加藤 瑞絵／多田 優紀

編集協力 — 株式会社 空知堂





明日の日本を支える子どもたちのために